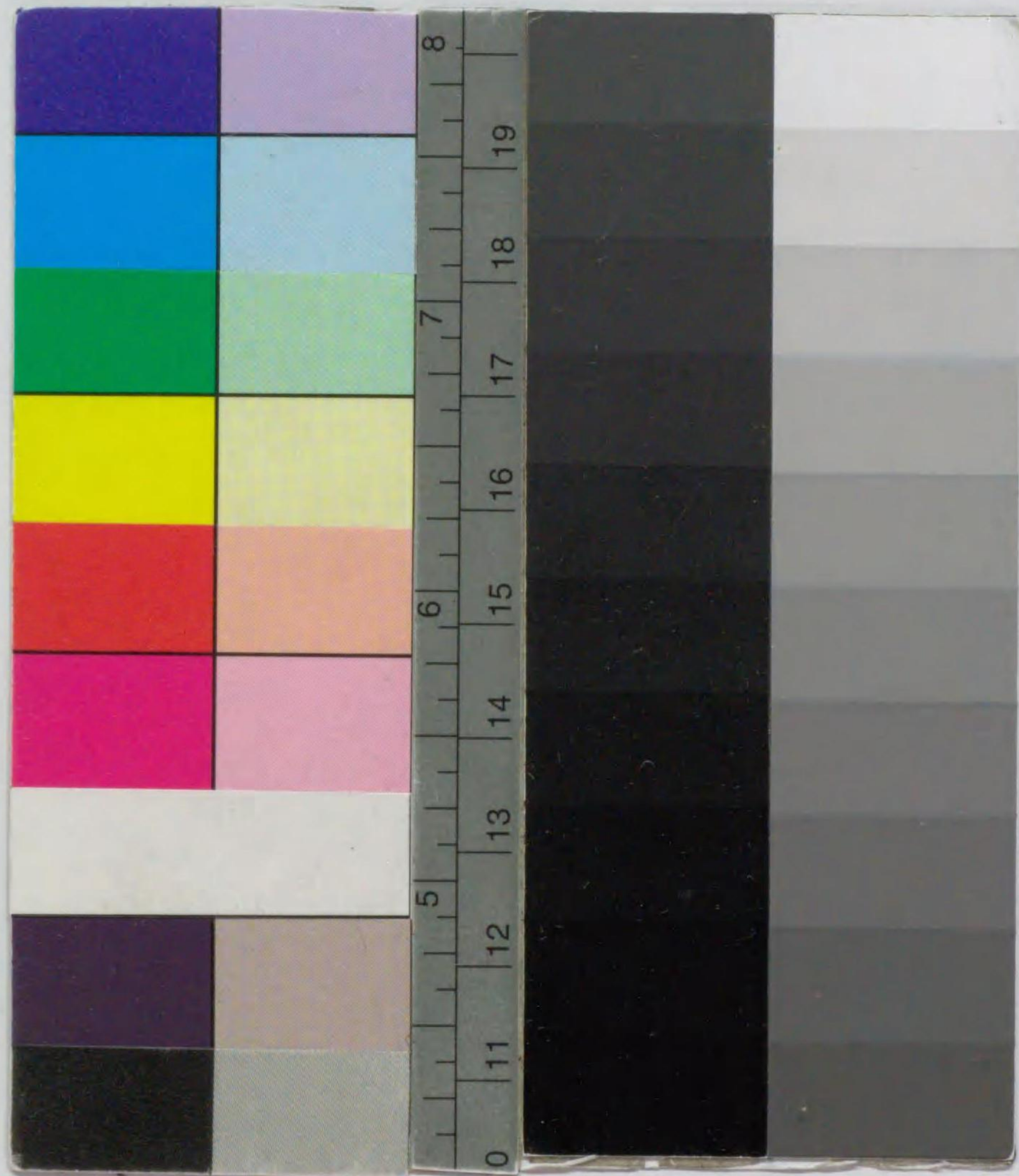


590  
151

英國放送協會  
成人教育放送研究報告

590-151  
1200501525486





英國放送協會  
成人教育放送研究報告

東京中央放送局



590-151

目次

例言	サア・ヘンリー・ハドウ	一
緒言		一
第一章	放送事業の發達	一
第二章	聴取者の研究	一
第三章	放送と成人教育	一
第四章	放送プログラム	一
第五章	聴取者と其の困難	五六
第六章	放送講演者	七二
第七章	當面の急務	八四
第八章	將來の組織	九六
第九章	經費問題	一〇六



'It was said of Socrates that he brought philosophy down from heaven, to inhabit among men; and I shall be ambitious to have it said of me that I have brought philosophy out of closets and libraries, schools and colleges, to dwell in clubs and assemblies, at tea-tables and coffee houses.'

(Addison, 'The Spectator', No.X)

『ソクラテスは、天より哲學を持ち來つて、之を人間の中に定住せしめたりと。余は哲學を書齋、圖書館、學校及び大學より携へ來つて、之を俱樂部、集會、茶の席及びカフェーに棲ましめたりと云はれ度き希望を有す。』

(アヂソン氏の「スペクテートル」第十章より)



121-002

第十章 結 論……………一一三

附録 A 受信器の選定と取扱ひに就いて……………一

附録 B 諸外國に於ける教育放送に就いて……………一六

附録 C 放送と青年教育に就いて……………二〇

例 言

ラジオを教育の機關として、如何に活用すべきかに就ては、我が東京中央放送局に於ても、夙に之が研鑽考究を重ねて來た。最近教育界の權威より成る教育放送諮問委員會の成立を見たのも其の一表現である。

この問題は世界の重なる國々に於ては、相當早くから慎重に研究されて居るやうである。就中、英國放送協會は同國文部省諮問委員會々長でセフィールド大學副總長であるサー・ダブルユ・エイチ・ハドゥ氏を委員長とし、同國に於ける高等教育、成人教育、社會教育、婦人教育等あらゆる教育界の權威者十一名を加へ、更に協會側より、理事長サー・ジエー・ジー・ダブルユ・リース氏以下教育放送關係幹部五名、總計十七名の教育放送研究委員會を組織し、前後一箇年半に亘りて、精細なる調査を行ひ、更に教師協會、スコットランド教育會、圖書館協會、勞働者教育協會、基督教青年會の如き教育關係機關又は専門學者、實際家より多數の證言並に資料を受理したが、この程其の報告を“New Ventures in Broadcasting”と名づけて、普く世に問ふ處があつた。



右はラヂオの教育放送研究上、眞に貴重な資料であると信ずるので、翻譯に附して、上梓することゝした。この問題につき關心を有せらるゝ士の多少なりとも参考になることが出来れば誠に欣快の至である。

昭和四年五月

東京中央放送局

### 序

千九百二十年の或る日の午後、國立協會 (Royal Society) の一室に集つた一委員會は、隣室の講堂で催される「仲々面白い實驗」を見るのもよからうと云ふので、議長から會の延期の申渡しを受けた。其の大講堂で、二個の小さな器機から、三十哩離れたチエラムスフォードのスタジオから流れ出して来る歌、ピアノ演奏、演説及び破れるが如き喝采の聲を聞いた。科學智識の無い委員の連中は唯驚く計りであつた。其の時實驗者は沈思し、『音響が少しひど過ぎる様であります。チエラムスフォードは聊か近過ぎるので、パリからだつたら今少し好く受信が出来るでせう』と云ふのであつた。

夫は八年前の事であつた。爾來此の不思議なるラヂオが段々普及して来て、今では己に不思議なもので無くなつた。パリからの送信は日常の茶飯事で、今では我が電波は紐育やシドニーにも到達しつゝある。即ち圓い地球の全般に到るのである。

科學が文化の手中に委ねたる此の武器が、如何程の偉力を有するか何人も測知することは出来



ぬ。將來の文明は將に此の力の適當なる管理と運用に倚る處が大きい。

吾々は茲にラヂオの種々なる用途に關しては、論ずる事を見合はせる。是は餘りに明瞭で論ずる必要がないから。今論ぜんとするのは、只一つ然し極めて緊要なる放送を成人教育に活用するといふ問題に就いてである。即ち所定の學習を了へたる者が更に趣味を増し、知識を廣くし度いと思ふ望みに對して、満足を與へることである。吾々は「勞れたる者を祝福の島へ伴ふ」如く、娛樂、慰安としての放送を用ふる事に滿腔の同意を有つて居るが、放送は其の他にも種々な任務を持つものである。本報告は、夫等の内の一任務に就いて執筆されたものである。

吾々の研究は、英國放送協會と英國成人教育學會との協力に依つて開始されたクロイフォード委員會の決定に依つて提起せられたもので、此の委員會に對し、前記二團體が例證を提供したものである。最初本書は、各署名者からB・B・Cの各役員及び英國成人教育學會總委員會とに提出するつもりであつたのであるが、更に廣き範圍の人々にも多大の利害を分つものと認めて、これを廣く一般公衆にも提供する事に吾々は決したのである。

特に教育事業に従事して居る吾々は、舊制度の下にも將た又新制度の下にも、B・B・Cが直接

其の番組又は講演に於てのみならず、廣く全國民の理解と判斷との標準を高むる上に寄與した功績を看過することが出来ぬ。吾々の收獲如何は、B・B・Cの賢明にして且つ先見の明ある政策に依つて蒔かれる種子に依る處甚だ大であると云ふも敢て過言ではあるまい。

本書の編成に當り、造詣深き知識と豊富なる經驗とを提供せられた立會の方々の援助に俟つことと大であつた。尙ほミス・ヒルダ・マデソン、及テイ・エツチ・サールズ教授の兩書記、並にミス・エフ・エム・グレイヴズ及びミス・イー・エイチ・バリー等の方々には、前記の方々にも劣らぬ感謝の意を表すものである。誠にこれらの方々の本報告作成上の援助は、實に貴重なものであつた。

千九百二十八年三月

サー・ヘンリー・ハドウ



緒言

希臘文明の餘燼が、人類の想像力に再び新しい光明を投げ掛けるために、全歐洲をさまよふ學者達に依り僅かに支へられて居た彼の十五世紀に當つて、新學問の助けとなるべき印刷機の發明があつた。更に最近百年間に於て、新知識は人類の生活及思想に革命を興へた。そして、新要  
求に目醒めたる諸大學は、澤山の教師を其の障壁を越えて派遣しつゝある。ラジオは、恰も印刷機  
が往時文藝復興期の當初に於いて貢獻した如くに、現代の學問復活を大いに助くるものであらう。  
ラジオ放送は、大多數の人々に對しては娛樂及び慰安の役をつとめる。受信機を所持すること  
は、ニュース、音樂、種々の娛樂及び芝居をきき、又面白い科學的の興味を得る機會を持つこと  
である。然るに過去五年間の經驗は、吾々にラジオといふものは、之れ以上の何物かを意味する  
ことを示したのである。例へば、説教、天氣豫報、船舶や漁業者に對する暴風警報、急に迫られ  
る場合のたゞ・O・Sの放送、蠶業ニュース、市場相場等の放送は、放送なるものが單に個人にと  
つて直接役立ち、且つ日常生活上確固たる地歩を占めつゝある許りでなく、多くの人々をして今迄



知らなかつた事實を知らしめることになつた。

一部の人々は、各自の職業のため又は個人的境遇のために、趣味や経験の範圍を狭められてゐる。大部分の人々には、英國内の觀光さへ容易なことではない。況んや海外旅行に於てをやである。何か大きな行事があつても、自ら出かけて行ける人々の數は、比較的少ない筈である。

ヨーク、ミンスターの除夜の祭、プロメナード演奏會、端艇競漕等に行き得る人の數は、極く僅かである。然し放送は何百萬といふ聴取者をこれらの行事に與からしめる。又總ての英人にイール市に舉行されたメニン・ゲートの儀式をきかせることが出来る。「註、白耳義國西フランダールの一都邑で、歐洲大戰の際、英、白、加、佛の聯合軍が獨乙の侵入を防止せる處。この放送につきの詳細は、ピットマンズ・ラヂオ年鑑(一九二八年)三十九頁参照のこと」。加奈陀其他の諸領土に於て、英國で行つた演説や、英國のナイチンゲールの啼き聲も聞く事が出来る。之れで見ると、雨が吾々の窓を訪づれる拂曉に、遙かなる印度の叢林に吹き渡る風の音を聽き得る時代が來るのも遠い將來の事ではあるまい。

成人教育といふと、多くの人々は眞つ平だといふであらうが、然し成人教育といつても煎じつ

めた處は、次のやうな意味なのである。即ち經驗を廣くすること、新しい趣味を涵養することである。聴取者は西國マドリッドに遠征した英國のフットボール・チームが、西班牙の群集からあひせ掛けられる歡呼の聲を聞く事が出来る。すると其の結果、今現に聲を擧げて居る國民のことを知り度くなる。即ち夫等の人々の思想や生活状態を知り度くなるが、それは、放送講演や國際放送番組の交換に依つて窺ひ知ることが出来るのである。西班牙語も覺える事が出来るし、西班牙音樂の放送も聴く事が出来る。實際聴取者は、其の身體が西班牙に行つてゐないだけで、他の事は何んでも出来る譯である。

以上は、廣義に於ける成人教育である。各國人が其の趣味の範圍を擴め、其の思想を向上せしむる爲めに大いに努力するときには、直ちに一層特種な意味を持つに至るかも知れぬ。即ち彼の眼前には、知的活動の可能性が展開し、彼をして其の生涯を有意義ならしめる。即ち一個人として又社會の一員として、彼は音樂、講話、演劇、及ニュースの如き一般的放送プログラム以外に、放送講座、討論、又は自己の趣味を持つ種目に對して、一層の研究を積んで足らざる處を補ふに至るのである。



以前はラヂオといふものは針金を接ぎ合せたり澤山の金具で、作り上げた新らしい玩具で、變な仕掛を以て成るだけ多數の放送局を聴取したものが勝であるかの如く、之を一種のゲームと心得たり、或は安價に音楽やニュースを聞く道具であるといふやうに考へて居たが、そんな時代は既に過ぎた。現在では社會日常生活と睨と結合して仕舞つて居る。只殘る問題は、如何にしてラヂオを最大限度まで有益に使用するかといふことである。勿論趣味關係の極めて多岐多様なるため仲々困難なることではあるが、廣義に於ける教育は、この問題に對して、極めて強硬な要求權を持たねばならぬことは明白である。

本書はこの意味に於て、放送をして大多數の人々により大なる用途を齎らさんがため、過去十有八ヶ月に亘る研究の結果を提供するものである。

## 第一章 放送事業の發達

ラヂオは、最近英國並に諸外國に於て、既に日常事と思はれる程に普及され、世界歴史初まつて以來一國內に散在する幾百萬の人々、否地球上大部分の人々が、吾家から一步も踏み出す事無しに同一の聲を同時に聞き得る様になつた。これを教育の目的に利用するに於ては、其の効果は、全く豫測し得ざる程偉大なるものである。縱令放送番組中、殊更に教育事項と銘を打つこと無いにしろ、教育上に及ぼす影響の多大な事が多くあるのである。

放送の特色は、莫大な民衆の興味を牽き付ける力と同時に、各聴取者の日常生活内に入り込む力を持つことである。斯の如き多數の人々、斯の如き各種階級の人々に、新らしき興味を吹き込み得る事は、放送以外の他の手段では到底求め得られぬ事である。知識普及の手段として、是程容易且つ僅かの経費で爲し得るものはない。普通の講演者と違つて、「潜入教育」を隨所に即時に完全に實施し得る方法なのである。

無線電話は、歐洲大戰直前に始めて實施し得る程度に完成されたが、これが一般娛樂の



具に供される爲には、大戦の爲四ヶ年間を遅らされた。即ち一九二〇年二月に至つて漸くマルコニー會社のチェルムスフォード局から、一日三十分間宛二回のプログラムを作つて、ニュース、唱歌、音楽等を放送された。翌年三月同會社のリトル局から、非公式に短時間の夜間放送を素人演藝家達に依つて始められた。一九二二年の秋、ロンドンのマルコニー・ハウスから、又時にはマンチエスター及びバーミンガムから送信が開始され、一九二二年十二月に至つて、英國放送會社が設立されるに至つた。理事長はゲインフォード卿で、常務理事はJ・C・W リース氏であつた。資金は無線電話機器製造業者の據出であつた。

B・B・C が事業を実施するに當つて、既に八ヶ所に主要放送所を建設する事に決定されてゐること、此の計畫が完成の暁には、英國總人口の五割が所謂「Bサーヴィス區域」内にあることが判つた。「Bサーヴィス區域」といふのは、聴取者が相當な屋外アンテナを以て、安價且つ簡単な装置で受信が保證せられる區域の事である。

次に十一個所に中繼放送所が増設されて、人口の七割五分が「Bサーヴィス區域」に入るやうになつた。尤もこれら中繼放送所は田舎の各地方よりも寧ろ都會地方を主としたものであつた。

ダヴェントリーの長波大電力放送所の設置は、或るプログラムに於ては、人口の八割五分を「Bサーヴィス區域」に入れることが出来た。

英國放送會社は、初め二ヶ年間の許可を得たのであつたが、後更に二ヶ年延長された。其の間將來の發達につき報告及建議をなすべき二つの委員會が政府の手に依つて選定された。一はサー・フレデリック・サイクスを委員長とするもの、今一つはクロフォード卿の下にあるものであつた。遂に一九二七年一月、クロフォード委員會の建議に基き、クラレンドン卿を會長に、サー・デュー・シー・ダブルユウ・リースを理事長とし、更に五名の役員を有つ公益法人が勅許に依つて組織せられた。舊株主には、悉く償還し、職員全部を新法人に於て引取り、而して此の變更は、政策に依る物でなく、偏に其の組織と立場の上に係る物であることを明にした。

舊法人は、創立當初から、放送事業は必ずや公益を目的としなければならぬとの見解を持つてゐた。其の目的とする處は、安價で且つ簡単な装置を以て最大多數の聴取者にラジオのプログラムをきかせること、出来るだけ其プログラムを主様主様にして選擇をさせやうといふのであつた。是即ち、各所に中繼放送所を増設して高價な受信機を設備する事の出来ぬ人々に、主要局の番組を、完



全に聴取せしめやうとしたのであつた。此の目的は、依然として新法人の現在及び將來に於ける發展の目標である。尙ほ是の方法が、歐洲の各主要國に於ても同様に採用されてゐる事は、注目に値する。尙又聴取許可數の急速なる増加率は、この方針の健全なることを示してゐる。即ち一九二三年九月の聴取許可數は十六萬以下であつたのが、一九二八年には、實に二百二十五萬以上に達したのである。これ實に、ラヂオを聴く人の總數が、一千二百萬人に達してゐる事を意味するのである。

歐洲各國に於ける放送局の急激な増設の結果各局の電波の干涉(混信)を起すことになつた。若し電波の整理をしないでおいた場合は、漸次悪化して行く事が認められたので、B・B・Cが主となつて、ゼネヴァに國際局の設立を提唱した。それは現在十七個國の代表加盟を得、B・B・Cの海軍大將カアペンデル氏が會長に選ばれる事になつた。而して、此の局の一大重要任務は、各加盟國間に波長の割當を圓滿に協定することであつた。英國及び北部愛蘭土の専用としては、二百米乃至六百米中の九種波長及び千六百米の専用長波長が割當てられ、更にB・B・Cは歐洲諸國の放送局との相互の間に、甚しい妨害に於らぬ限りに於て、或る特殊の共通波長を使用するの自由を有する事となつた。但し此の特殊共通波長は、小電力放送の場合に、極めて狭い區域内に於て

十分なる働きを爲さしめる爲であつた。

これ等十種の電波使用の計畫に當つて、B・B・Cは二重放送プログラムの制を設け、全英國内の聴取者をして、安價で簡単な受信機を用ひて、成る可く良好に聴かせやうとした。此の目的の達成に使用した方法は、「レヂヨナル・スキーム」として知られてゐる。

「レヂヨナル・スキーム」の目的は、使用を許可された各種波長を最も適當に使用する事にある。現在目論まれて居る處では、小數の大電力放送局を設けて、現制度の多數の小電力局を廢止しやうとする事である。これ等大電力局を、英國内の最も能率よき地點數個所と、北部愛蘭土の一個所に設ける事になつてゐる。何故に九種の波長が、吾國に割當てられてゐるかは、これで説明がつくと思ふ。所で、ダヴェントリー大電力放送局と、彼の共通波長とは、未だ手を染めずに殘されてあるが、これ等は必要に應じてレヂヨナル・スキームに依る大放送所を補助するために保有されてあるのである。

英國放送會社は、創立當時から廣狹二義に於ける教育放送が其の任務の一たる事を自覺してゐる。そして、最初から放送番組中に「講話」を編入して來た。其の「講話」には、時事問題や新聞



的興味の物や特殊問題に對する考察を鼓吹するやうな立案が廻らされてあつた。初期に於ては、聴取者の大多數が科學に對する趣味を持つてゐると考へられたので、主として科學的種目に重きを置かれた。サー・オリヴァー・ロツヂやサー・ウヰリアム・ブラグ等の有名な科學者は、此の初期の講話者中に發見せられる。尙ほ夙に、教育専門家及び文部當局者の協力を得ることに努力した。一九二三年の初めに、各地に放送局が開設されると同時に、諮問委員會が設けられた。各放送局の開始と同時に教育の現状及び夫れに對する會社の意圖及方針は、委員會に提出された。初め此の種の委員會は、ロンドンに設けられたが、其の後、各放送局所在地にも漸次同様の委員會が設置されるに至つた。委員の顔觸は、團體の指名に依つて、地方學校の校長職員又は大學代表者、文部省の局長書記官等から撰ばれるのである。文部省へも亦上申して、本事業に協力せられん事を依頼し、文部視學官中の一名を、親しくロンドンの諮問委員會に列席するやうにした。其後間もなく會社の教育事業は、會社の本部に専任の部課を設けて、攻究する必要を感じたので、常務理事は、時の文部大臣と會見の結果、上記文部省からの代表者であつたJ・C・ストバート氏を專任する事に成つた。氏は初め期間一年間の約束であつたが、其後B・B・Cの教育部長として就職した。

斯かる手續をとつた結果、本事業は其の量に於ても、又其の能率に於ても、着々と發達した。一九二三年には、毎夕の番組中に、十分から十二分に亘る二種の「講話」を編入し、之を各放送局から同時に放送することにした。但し當時は未だ定規の時間割があつた譯ではなく、この種の講話は、臨時に編入したものであつた。一九二四年の夏から學校と連絡を保つて、組織的實驗を開始した。この實驗は、各中心地の教育諮問委員會と協力したのであつた。一九二四年の九月、夜間プログラムに於て教育の目的に放送を利用すべき組織的企畫をした。B・B・Cの教育部長は、文部省成人教育委員及び英國成人教育學會と協議した結果、右會合に於ける提案を實行すべく定規のプログラムとして講話を其の秋にやることにして梗概を印刷に附して發行した。期間は一九二四年の十月からクリスマス迄としたのであつた。このプログラムの講話の内には、サー・ハルフ・オード・マツキングダーの「國家論」、サー・ウイリアム・ブラツグの「音響學」、ヒレイア・ベロク氏の「旅行談」及び「英國民謡」、舞踊協會の「民謡及舞踊」に關する挿繪附連續講話を編入した。尙ほ保健者、農務省等の官省と連絡して、公務に關する「講話」もあつた。之に對しては、相應に反對も



あつたが、「講話」に對する興味が、著實に増加する證據を見せ、印刷プログラムの賣行高は、ト  
ン／＼拍子に激増し、其の數毎種約二萬部に達した。

一九二七年の復活祭の時に至り、明確に教育的なもの以外の講話を、別の課の所管とし、教育部  
長の下に、一主任と一助手とを新任したが、これは成人教育部を發達せしめるためであつた。一  
週五回午後七時二十分から二十分間宛の連續講話と、主として婦人會の爲めの毎週一回午後の連  
續講話と、ダヴェントリーのみで行ふ毎週一回午後八時から三十分宛のものを編成した。講師の  
講話を補ふために、「研學の葉」といふ小冊子を發行し、之には詳細な註釋や適當な書物の案内な  
どを入れた。そして、このプログラムの發行高は毎種六萬部に達した。

是等講話の成功を物語るべき多くの證據がある。某商業夜學校からは「放送に依る佛語及獨乙  
語と關聯して、當校に於て行ひたる實驗は如何なる點よりするも極めて満足なるものである。當  
校一學生の言に依れば、『語學講座は私にとつて是以上のものが無いと思はれます。こちらで必要  
と思ふものは、何んでも明確に説明を興へてくれるし、書物も六ヶ敷過ぎず面白くつて、語學研  
究の獎勵に充分なる』と。地方の一聴取者は、この講座に就て『私は過去一ケ年間獨乙語を獨學

で勉強してゐます。當協會の放送が私に取つて唯一の力であります。私の深い感謝の念は、これ  
で御諒承出來ませう。』と書いて來た。勞働組合の一役員は「各時代の歐洲」と題する連續講話を  
聞き、欣んで其の意見を表示して『問題の解決に分け入つた巧妙なる見解は、實に賞讃に餘りあ  
るし、講演は皆乾燥無味なる亞流とは全然其の選を異にして居た。斯く自己の言はんと欲する處  
を徹底せしめ得たる講演者に對し、祝辭を申上げる』と云つて來た。昨年五月、ロンドンのクキン  
ス・ホールで毎年の例にならひ總會を開いた女子學院全國聯合會から、興味ある感謝狀が來た。そ  
れは其の總會に出席した全英國及ウェールズの代表委員達が、午後の特別講話の繼續を望むと  
いふ決議をしたことである。元來、講話を聴取する人々の意見を聴くと云ふことは、極めて困難  
なことなのであるが、各地方からの婦人代表者二千餘名に依る斯の決議を得た事は、特に興味も  
あり、意味もあるものであつた。補助の小冊子を使用して、組織的に行ふ短期の連續講話の斯の  
如き發達は、B・B・Cの成人教育に對する眞面目な大努力を示したが、尙ほ講演課の編成にかゝ  
る一般講話の教育的價值を強調する事が緊要である。書籍、芝居、映畫及音楽に對する毎週の評  
話、旅行及文學の話、専門家の時事問題の話、各種官廳の話（これ等は總て不偏不黨公平なる立



場よりする)などは、從來普通の教育機關に於ては手をつけてなかつた物で、而かも公衆を教育する助となること疑ひない物である。この研究に於て、學校等の組織的な教育法は、形式を離れた放送の如き教育法よりは、偉大な効果を擧げてゐるやうに見えるけれども、一般聴取者に對する影響から見る時には、放送は最も價值ある先驅的の仕事をして居る物である事が疑ふ餘地もなく知れ渡つた。

B・B・Cは、最初から、其の講話や講演の價值及興味は、挿繪の利用に依つて大いに増加するものと認めてゐた。それは、恰もオペラなどに於て、説明書を與へるのと同理である。そこで、最初は、講話の挿繪に「ラジオ・タイムス」を使用した。斯る一般向の發行部數の非常に多い刊行物に、特別の欄を設け、同時に正確を期することが困難なので、漸時不都合を見るやうになつた。又一九二四年迄は、ナショナル・ギャラリーとナショナル歴史博物館から發行する一揃ひの繪葉書を、繪畫や動物の講話のあるときに販賣して居たが、其後講話のプログラムが漸時擴張して來るに連れて、遂に講話に關する詳細な摘要や其の書籍目錄をも附する事に成つた。其後學校の爲めに午後の連續講話を放送するに當つて、正規の連續小冊子の發行を見るに至つたが、其の發展は

最近に至つて、成人教育のプログラムに迄手を伸すに至つた。其の反響は驚く程で、學校用冊子と「研學の葉」との一九二七年秋期に於ける販賣部數は、約二十五万部にも達した。

尙ほ是等の講演中、非常に人氣をそゝつた講話に對して、山なす投書が到來して、遂に各講演者とは等投書との打合せを行ふ必要が生ずるに到つた。即ち、是等書信を講演者自身が處理した場合もあり、又常套的な質問等に對しては、講演者の指示に従つてB・B・Cの職員が處理した場合もある。尙ダヴェントリーの半時間放送の場合の如く、時間の繰合せがつく場合には、選拔された書信に對して、マイクロフォンを通じて回答を成す事も往々あつた。

英國に於ける放送教育の發達と相並んで、諸外國でも同様方面の實驗が行はれた。而して、斯の如く放送を教育に用ひやうといふ同じ希望が、全世界を通じて感ぜられたこと、及び教育事項が、各國のプログラム中に存在するに至つたことは注目に値する。附録Bに諸外國の放送教育に關する概評あり。

然し、最廣義に於ける放送の教育的効果如何を見積ることは、未だ不可能である。只手許の實例で見ると、其の効果は、一般の人々にとつて特に農村の人々にとつて、効果があるやうである。



處が、其の及ぼす範圍は老大であるのに、經驗は新しく淺いのであるから、數字、諸表等を明確に得られないことは、明かな事實である。

左に掲ぐる三種の事實は事件其物は大した事ではないが、然し相等意義ある物と云ふ事が出来る。

昨春、地方の一都邑から、四人の青年が、最も古い或る大學の入學試験を受けに来たが、何故特に此の大學を選んだかと云ふに、曾て放送に依つて同大學教授の講演を聞いたので、何うか同じ先生について、其の課目を更に研究して見たいと思つたからであつた。

最近B・B・Cの一委員が、極く僻遠な農村の小百姓と話をした。彼曰く『ラヂオといふもんが這入り込んで來てから、一つ私の氣付いた事は、此邊の酒場や、晩飯後の爐邊の話題が、これまでとすつかり變つたことであつた。』と。

二三月月前、ロンドンの或る大道路が定期の煉瓦敷替を遣つて居る時、或人が一夕、道具や木煉瓦が積まれて居る場所を通り掛けると、小屋の中に夜番が、例の通り眞赤におこつたコークスをバケツに入れて坐り込んで居たが、不圖見ると驚いたのは、耳に受信器をあてゝ居る事である。

そこで、その紳士は立停つて話し掛けると、いきなり夜番は手を舉げて、『靜かにしろ。』と制して『シート、俺は今、テスモンド・マツカーシーを聞いてるんだ。』としつかりした聲で云つた。

## 第二章 聴取者の研究

聴取者と云ふ物は到底分類など出来ない程、多數で、不定で、調査不可能の物である、之を無理に一定の確然たる範疇に分け入れやうとすると、勢ひ變なものになつて了ふ。然し、次の事項に依つて、大體區別することが出來やう。即ち講話を聴取する人數と其の種類。何割の人が講話になるとスイッチを切るか。組織的な眞面目な教育放送が、聴衆者中の何う云ふ部類の人達に歡迎されるか。講話の特殊の科目及形式に對する特殊團體の要求を、何の程度迄測定し得るか。この質問に依つて分類するとすれば、所謂一般聴取者程六ヶ敷い物はないと云ふ事になる。一般聴取者のことを充分に知悉してゐるといふ人々の説によると、一般聴取者といふものは、妙に片意地なもので、時には何でも嫌ふものであつて、その嫌ふ物の中には、必ず教育放送が含まれて居ると云ふ事である。何うも一般聴取者は、概して忙しい男女であつて、特に彼れ此れといふ



のでなく、娛樂慰安にさへなれば、それで満足するのである。然し、只一つの確なことがある。それは斯ういふ意味の一般聴取者は、放送事項の何か一つのを、辛棒して聴いてゐないことである。而かも放送事項其物に依らず、主として講演者の聲とかひとよなりに依るのである。然し、此の質問法で研究して見ると、聴取者の案外大多數は、實際の處豫期以上特別な趣味を持つてゐる。故に、放送プログラムの特種なものが欣ばれるのである。其の證據には、放送開始時代から今日迄の情勢を見ると、番組に對する批評の標準が變つて來てゐる。又プログラムの適用される「高級」だとか「低級」だとか言ふ言葉も、年々其の意味を變へて來てゐる。

扱て、聴取者の大多數が特種な趣味を有つと云ふ事を考へると、實際教育は、此等の趣味から發足せねばならぬと云ふことが云はれる。従つて教育放送として有望な分野を測定するには、是非共趣味の分拆といふことに其の基礎をおかねばならぬ事が分る。

大抵の人々は、教會、政治的團體、労働組合、職業的團體、産業組合、又は諸種のスポーツや慰安の俱樂部などに、大體集合するものである。これ等の外に、各自の家庭、部落、都市、國家、又は一時的に所屬する、病院とか刑務所とかに對して、各自の利害關係を持つものである。此等

の關係が、教育に對する要望を、自覺的又は不自覺的に生ずるものである。其の利害が現實的で強い程、其の必要が顯著である。これは、又次のやうに云ふ事も出来る。即ち、或る共通の利害に依つて、少數の人々の間に生じた結束が密接であればあるだけ、教育に對する自覺的要求が大きくなるのである。又社會に是等の人々の數が多くなればなる程、其の要求を満たされる機會が多くなるのである。

従つて、教育放送は一方に於て頗る一般的な、すつと雑多な趣味に合すると同時に他方に於ては、社會の諸部門を更に特殊に區別した其の特殊趣味にも合致するのである。

職工教育協會は、この調査に對する回答として作製したるメモランダムに、次の如きことを述べてゐる。

「B・B・Cには、恐らく個人的聴取者の慰安並に教育的要求を充たすべき義務があるだらうが、教育團體の有志連の經驗では、學生の大部分は、其の研究に對する感激を、宗教若くは政治經濟の諸協會から得て、これ等の關係に價値ある教育を望んでゐるといふことを忘れてはならぬ。放送に於て、果して如何程之を重要視すべきかは明言しがたいが、之は、各級の受持教師



に依り、篤と攻究せらるべきである。されば、或種の科目に對し放送企畫の編成に當つて、集團趣味を考慮して作成する必要があるかも知れぬ。斯く云へばとて、題目をば特種の趣味に適當するやうに、扭けて行けといふ意味ではなく、實は寧ろ夫等の題目を、多種多様な人々が希望し、又理解せんとする現實に即せしめんとするの意である」

本研究の見地から、區別され得ない一般聴取者と、趣味の標準に依つて區別されて居る人々との差は、前者に在つては、特種な話題を希望するやうな事はなく、従つて注文も無いが、後者に在つては自覺的で明晰である。即ち前者の希望を發見する事は、困難であるのに引きかへ、後者は非常に敏感であつて、何事にも出来るだけ進んで協力しやうとする態度のある事が知られる。組織的な労働階級團體の希望は、或る程度迄教師協會の次の聲明書によつて測定する事が出来る。

「大戰後、比較的大きな労働團體機關が、教育方面の活動に急速に興味を感じるに至つたことは注目に値する。一九二五年労働組合大會は、スカポロ市に於て年次總會を開催したとき、廣泛な教育計畫なるものを採用した。それは、同組合加盟組合に於ける四百五十萬の労働者を包括するものであつて、會員數二百萬以上の労働者を有する關係組合は、自發的に労働階級教育

團體の計畫を採用することにした。労働者俱樂部及學會同盟(The Working Men's Club and Institute union)は、最近労働者教育協會と特種の協定を行ひ、其等會員に對して教育事業の發展を期することとした。この同盟に参加の俱樂部數は二千五百、會員數約百萬である。共同組合である地方の會の數一千三百を擁する聯合會では、その數優に五百萬を超える會員を以て同様の計畫に着手した。是等地方の組合團體の大多數は、各自教育委員會を設け、教育の目的に其の利益金の何割かを經費として支出することにした。他の機關のことを茲に詳細に記述する必要はないが、今迄に擧げた諸事實は、此等機關の會員なるものは、成人の大部分を包括してゐる事であるから、相當の放送時間を、これに割當て、會員自身が要求した教育を與へること、又此等團體の資金を以て必要なラヂオ電信装置を設備することの出来ることは勿論である。」

右と同様な興味ある實例を、共同組合や其他種々な團體から報告されてゐる。即ち教育が本來の目的でなく、別に特殊の存立目的を有する全國諸團體の代表者が、放送に依る教育事業に對し、全會員が皆熱心であるといふ事が分つたのである。基督教青年會の如きは其の一例であつて、B・



B・Cが昨年の秋、或る實驗を行ふ豫定を發表するや、各地の中心都市から具體案を提げて、その事業に對する協力を申込んで來た。以上に依つて、B・B・Cは、是等の組織的社會事業關係者に直接訴ふる事に依つて、廣い聽衆の綜合的希望を、最も有効な方法で満足せしめ得ることが分つたのである。

職業團體について考へて見ると、或る特殊の利害關係を持つ事頗る大であつて、國家的見地から其は誠に重要なものであるから、此の如き職業團體に特に價值あるやうな項目の物を教育放送番組に加ふべき理由が充分ある。これは、尙學校、教師、農業家、地方労働者、又は鑛山事業の如き大工業の従業員に適用出来る。斯く局部的聽取者の爲めに編成された放送は、或は範圍が狭くて、専門技術的趣味を持つやうに見えるけれども、之に適當な放送時間を與ふる時には、其の効果は、單に關係者の特定趣味を満足せしめるのみでなく、更に社會全體に對しても趣味あることとなるであらう。一例を舉ぐれば、農家は由來其の職業の性質上、有益且つ價值ある話を聞く機會を持たない場合が多いが、之等有益なる話に依つて農業及田園生活に大いに寄興する處があるならば、それは、取りも直さず國民全體の利益となるのである。同様の筆法は、僻遠の土地で、業

務に従事して居る僧侶、教師、醫師、其他種々なる専門職業家の希望にも當てはまる。ラヂオで斯ういふ人々の爲めに「溫習」放送でもやれば、新しい興味と奨励となり、更に此等の人に指導を受くる人々にも亦利益となるのである。鑛夫幸福増進委員會から、次のやうな陳述書が提出された。

『今日全國各地方に設置されてゐる多くの鑛夫幸福増進會は、大抵受信設備をしてゐるから、本委員會は鑛山就業者に對して教育放送を行ふべき相當の餘地があると思ふ。一般教養科目である文學、生物學、旅行、經濟學、美術、音樂及通俗科學等は、鑛業従事員中の聽取者に欣ばるゝこと、敢て他の工業に屬する者に劣らぬであらうが、其の従事する職業といふ立場から、鑛山従業者は、或種の科學的研究に特殊の興味を有つものである。そして、現在當委員會が關心してゐることは、鑛山安全研究局でやつた坑内安全上の研究の結果を、何うかして最も簡單且つ通俗的に周知せしめ度いといふことである。B・B・Cの聯合委員會は、鑛山地域又は其の附近の放送局から、此等の研究事項の内單に鑛山關係者のみでなく、廣く一般聽取者の趣味をも喚起するやう、一般向といふことに基礎をおいて放送して載き度いものである。』



其の他生活環境の爲めに失はれてゐる幸福を、放送に依つて獲得出来る特殊階級の聴取者があ  
る。即ち燈臺守や漁夫の如きは、職業の關係で相當長い期間、一般世間の思想や出来事と接觸を  
断たれてゐる。是等の人々にとつて、放送は實に多大の利益を與へると同時に、多方面からの慰  
安を與へ得られるものである。茲に放送の講話が、如何に彼等に欣ばれてゐるかを示す例證があ  
る。

即ち、和蘭では、傳馬船内の多數生活者が、放送に依つて教育を受けてゐる。彼等は、他の方  
法に依つて教育を受け得ないのである。茲に又放送を徹底的に特に欣ぶ一部の聴取者がある。即  
ち、現在約一萬の受信器が盲人に使用せられてゐる事である。此等の人々にとつて、講演や朗讀  
の放送の有難さは、蓋し測り知るべからざるものあることは明白である。毎週ラヂオ・タイムスを  
點字で發行して居るが、「研究の葉」といふ冊子も、之れと同様點字で發行して貰ひたいとの要求  
が出た位である。

地方的な利害と團體の利害との間に明確な區別を設くる事は、常に困難ではあるが、或る  
特殊な地方民にとつて、特に利益を與へたと云ふ多くの實話のあることは明かである。例へば、

陶器工業は、北スタッフオードシャイヤーに於て特に利害關係を持つのであるが、ストック・オン  
・トレントでは、この地方的利害を考慮して、成功を十分に収める事が出来た。即ち、此處の多數  
學校では、受信機を備へてゐて、之を晝間に使用して、夕方からは、之を一般に公開して、陶器  
製造業に従事する成人生徒達に、スタッフオードシャイヤーの諸工業を題目とする講習に耳を傾  
けさせたのである。教育放送の改良又は擴張を計畫するには、地方プログラム中に或る程度迄の  
時間を割當てるやうにすることが緊要である。此等のことについて、餘り詳細に入ることは避  
けるが、兎に角相當多數の生徒が、諸大學、地方教育當局、及び有志團體等によつて設備された講  
義や授業に出席してゐるので、此等生徒達の希望する放送事項は、他の聴取者の希望とは相違し  
て居るのが當然である。従つて此等生徒達の爲めにも、他の部類の人々に對すると同様に、相當  
なる放送時間を割當つべきものと思ふ。

放送事業は主として娛樂の手段として發達して來たことは首肯できる。従つて、最初から教育  
放送を主眼として聞かうといふ人は、蓋し比較的少數であるかも知れぬが、然し、今迄聽いた教  
育放送に興味を感じた人々、將來益々之を聽かうと希望する人の數は、教育放送を目的とする人



々より遙に多い譯である。従つて前の少數者と、後の多數者の双方の希望を満たさせてやることは、最も主要な事柄である。然らば、如何なる方法に依れば、放送番組の制限内でこの目的が達成されるだらうか、又一見相衝突する如く見える、教育と娯樂とに對する二種の要求を、如何にして融和して行くか。所で、現在のプログラムの時間比率は次の如くである。

最近の調査に依ると、現在放送時間の六割二分が音樂に充當されてゐる。内一割は古典音樂に、約一割二分は上品な軽い音樂に、二割六分五厘は軍樂とか音樂喜劇等の如き通俗音樂に、一割二分三厘は舞踊音樂になつてゐる、放送時間の約二分は、ドラマに充當してゐる。其内に古典劇が入つてゐる。二割〇分八厘は、各種の講話に當てられ、其内にニュース、朗讀及時事談を含んでゐる。約一割五分二厘は、純然たる教育講演に割當てられてあるが、其の大部分は學校相手の放送である。

以上の數字は、プログラム中に於ける各種目の性質状態を考慮して、調節配置されたものである。即ち「講話」の部類に來る大部分のものは、七時四十五分から十一時に至る主要夜間放送の開始前に放送せられる。例へば學校相手の放送は、比較的他の放送とかち合はぬ時間を選ぶと云

ふ風に。

無線聯盟は、可なり多數の一般聴取者を包括してゐるが、其所から教育放送に關する顯然たる次の陳述をなした。

『現在の如く、時間分配の制限せられたる制度の下に於ては、現在以上に教育放送の割當て時間をとることは出來ない事である。兎に角、吾々は午後七時以後に教育放送を編入することは極力反對である。』(註)無線聯盟の代表者は、當方からの質問に對し、二重放送の制度さへ布かれるならば、講話に充當する時間の増加を承認した。而して、同代表者は、現在の如く午後七時廿五分に放送する講演にも甚だしい反對はないといふことを承認した。尙ほ、同代表者は、サー・ウォルフオード・デビス及サー・オリヴァ・ロツヂの話は、非常に欣ばれたと申出でた。其後數ヶ月にして、ドクトル・フォニエール・ダルフと云ふ無線同盟加入の一無線團體顧問委員から、ラヂオ協會を通じて無線大學の計畫をしては如何といふ申出を受けた。

之れに反して、少しでも教育上の便宜を其の會員の爲めに計りたいと思つてゐる團體からは、教育的講演を、午後七時三十分以前に放送するのは全然無益である。それ以後の時間の方が多く



の場合遙かに適當だと力説して來た。但し、婦人の場合は、午後に聴取の暇があらうから、この限りでない。

基督教青年會の蘇蘭と英蘭の部會は、

『夕方稍々遅く、先づ八時から九時半頃迄の間に、講演放送をすることができれば、團體聴取者や繼續聴取上、協力が非常に容易である。』  
と述べてゐる。處女俱樂部の全國協議會では

『労働をしてゐる娘達に、午後八時以前の教育放送は、何の役にも立たぬ。』と。  
又「母の會」は、

『既婚婦人に對する教育講話の最も適當な時間は、午後二時半から四時半迄か、或は八時から九時半迄である。』と。

交代就業制を採つて居る諸工業では、男女就業員は、朝の内か午後に暇がある。此の時間に放送する講話は、彼等の適切なる要求に應じ得る。

最近、ミッドランド地方から晝の食事時間に放送して貰ひたい。さうすれば、酒保や娛樂室で、

高聲機で皆んなで聞かれるから、との要求が來た。

教員協會は、一般放送時間問題に關して曰く。

『交代制度の就業者や、或る特別の人々には、日中が宜いだらうが、主要な講演放送の時間は夕方が宜しい。當協會の大なる要求を考慮されて、冬期は各種の講演を夕方のプログラムに編入し、少くとも一週九時間宛割當てることを提言する。』

實際教育放送を聴取する男女の爲めに講演をする資格のある程の人々で、夕刻の早い時間が適當だと思つて居る人は一人もない。然るに一方、二重放送制でなく、他のプログラムを選ぶ事が不可能なのに、午後八時以後の主要番組中に教育放送を編入する事は、多數の聴衆の反對する處であらう。そして、番組の統一上、之は殆ど不可能だらう。現在の午後七時二十五分の成人教育講演は、七時以後肩のこらぬプログラムを要求する人々と、講演に興味を有つてはゐるが仕事の都合上七時三十分以前には聴く事が出來ないといふ人々との間の妥協から生れたのである。

約言すれば、多數の聴取者にとつて今日の如くプログラムの選擇がない以上は、特殊の講演に對する要求は、充分に満たされないといふ事が明かである。要するに、二重放送に依つて特定の



時間を割當てるに非ざれば、B・B・Cは其の多くの部類に分れてゐる多數の聴衆を満足させることが出来ぬのである。

夫故に本調査は、B・B・C自身の創造にかゝり、而して、決して廻避する事の出来ぬ大責任を、B・B・Cが一般公衆に負うて居ることを強調すると共に、將來プログラムの編成企畫に當つて、均等なる注意を、特殊な利害關係を有つ聴取者及これから聴取者たんとする者に注ぐやうにし度いものであることを示してゐる。

### 第三章 放送と成人教育

前章に於て、國民教育上顯著なる實驗となり得べき事柄を描出せんと試みた。實の處、國民教育の内の成人教育の方面は、壹百餘年前に工業労働者間に始まつた一運動が、最近になつて漸時發展を見たものである。そして、其の範圍も一層擴くなつて來たのである。

茲では成人教育沿革史を、簡略に述べるだけに止めざるを得ない。この成人教育は、大戦前に既に幾多の變遷を経來つたもので、十九世紀初頭の初歩的成人學校に於ては、成人男女が先づ讀

み書きを學んだものである。同世紀初頭の科學上の諸發見は、工業従事者の興味を中心となり、延いて一般に機械學會の設立を見、多種多様の研究を見るに至つた。而して當初からの協賛運動は、其の基金中の一定額を、會員教育に充當する事であつた。各大學では又、七〇年代に於て各教師を派遣して大學教育開放運動を行つて、この新しい事業に寄與する處多大であつた。初等義務教育の制定、無料圖書館、繪畫陳列館、博物館の設立等は、自然、知識慾を増進する事となつた。

この要求は、廿世紀の初頭に於て、労働者教育會の成立となつて現はれた。此の會は、労働階級團體と教育機關との合體を見るに至つた。尙これが素因となつて、此外に更に幾多の初等級の教育機關を作ることが出来た以外に總ての大學をして聯合委員會を設立せしめ、三ヶ年課程の家庭教師に依る教育制度を決定せしめる機運を作つた。この教育制度は、徹底的教育を三ヶ年施す事を目的としてゐる。此の事業の價值は、遂に公式に認められて、文部省令の下に事業經費の國庫支辨を見るに至つた。この補助金を受け得られるといふことが、本事業に大きな刺戟を與へた。而して、大戦前年には、この家庭教師に依る教育制度の學校一四五校の存在を見るに至つた。本運動は、それ自身の充實した方法に依つて進歩發達を遂げ、その生徒數は、初期の大學教育開



放講座と違つて、少人数であつて、然も生徒各自が專習學科を擇び、教師は其の學科によつて任命されるのだつた。大學教育開放講座のやうな講演は重要さを減じて、本事業は益々知識の追求に漸次協力的努力を示すやうになつた。

斯の如く大戰前の數年間に、成人教育は、既に特殊な性質を保持するに至つた。それは、主として都市の工業就業者の要求に適應した高等な大學教育といふやうに思惟されてゐた。大戰中の中斷を除き、家庭教師式教育制度の運動は、斯くて堅實に發達したのではあるが、若干頭の重過ぎる嫌ひがあつた。即ち高等な研究的素養のない人々に對しては、何等施す所なく、従つて大多數の人は、眞面目な教育の恩典に何時までも浴することが出來ずにゐたのである。

然し、一九一八年以降に至つて、成人教育の範圍と性質とに、可なり重大な變化があつた。大學の家庭教師式教育運動は、一時阻止されたが、大戰は社會の各部門の興趣を刺戟した。此事は地方に於て特に然うであつた。一八七〇年以來、英國政府は、政府自身の手でこの缺陷を充足せねばならぬ責任に直面する至つた。即ち、多くの男子の出征と共に、新らしき負擔が村々の婦人の上に投ぜられた。

(註) 組織的成人教育運動の詳細に就ては Year-book Press 社發行の Hand book and Directory of Adult Education を参照せられたし。

而して、此の戦時の經驗から生れた新しき熱求は、主として婦人會の運動に現はれた。そして十二年間の星霜を経る間に、英蘭及びウエルスに於ける四、〇〇〇餘の村落に支部を設立するに至つた。單に狹義に於ける教育運動に止まらず、該婦人會の事業は、村落居住婦人の教育要望の度を増加させた。

女性間に於ける此の新自覺は、勿論村落のみに限られなかつた。婦人會以外に婦人協同組合、母性同盟、全國女子青年クラブの如き諸機關が、教育進捗の活動を起すに至つた。これらの團體が教育に對する熱心の程度、及び彼等の必要とする目的に適當な手段方法を利用せんとする其の周到なる用意に就ては、實證を擧ぐる事ができる。例へば、母性同盟は、その會員の特別なる要求に就て曰く

「教育放送は、両親と子供達との間の眞實のきづなとなることができやう。普通の教育が、時に親子間に不可解の深淵を作るが、放送は之に架け渡す理解の橋梁となり得るものと信ずる。



私共は亦、私共の幼時に受けた教育効果を發揮することが、不十分である事を知る。といふのは、婦人は家事に忙殺される爲め、又大都市の郊外や邊陲地に生活する關係上、局限を受ける結果だらう。』と。

然し、戦争の刺戟は、婦人だけに限られなかつた。戦後村に歸還した男子は、新らしく且つ從來にない經驗を嘗めた。而して、これが爲めに村落に於ける社會生活は、著しく生氣を加ふるに至つた。此の傾向の最も著しき徴候としては、俱樂部や學會などの新設立、各郡に於ける地方會の發展等であるが、其等の會は、田園生活に於ける趣味の涵養、田園圖書館の廣汎なる利用等に努力を示した。この圖書館の設備は、英蘭及ウエールスの四郡を除いた他の各郡に設けられたのである。これら地方會は、村落に於ける社會生活の全方面を取扱ふべく創始せられたものではあるが、其努力は、講演、音樂獨唱、劇、其他之に類するものに對する要求を満たすために其の精力の大部分を傾倒したことは意味あることである。

諸都邑では、又一定の教育的關係と共に、極めて多種多様な社會的の發達があつた。例へば、宗教團體、政治團體、文學會、討論會、各種の音樂會、戲曲の會、科學的趣味から出來てゐる地

方の會、野外遊戯獎勵クラブ、等の活動を加へた事は、數千數萬の男女の爲めに、人生を一層興味あるものと成さしめたのである。

斯く一般人の要求が變つて來たことは、既存の成人教育制度に影響を招來した。この反響は、公教育當局が設けた規定を見ても認められる。文部省の成人教育規程（一九二四年）は、十八時間制の（特に困難なる場合は十五時間制を認むる別規定ある）「學期課程」<sup>ターミナルコース</sup>を初めて認容した。而して、大學教育開放講座課程も亦、該規程に於て補助金支出の目的として初めて承認せらるゝに至つた。多くの地方教育當局は、村落に於ける短期講習並に單一の講演の援助に多額な補助金を與へてゐる。諸所の當局者は——其中でも倫敦の地方會は、其の最も顯著なる例であるが——會自身で非職業的なる課程を直接與へてゐたが、有志團體の大多數は、程度の高い課程が多數者の要求を満たし得ないこと、並に主として經濟と政治問題に興味をもつ工業従事者の爲めに考案した方法は、全然異なる種類の物に興味をもつ人々には、當然不適當なることを早くも認めたのである。茲に於て、先覺者の單獨講話や短かい講演の課程を、著しく増加させる事となつた。それから、村落などでは、音樂とドラマの切望、地方圖書館の發達に依つて鼓吹せられた書籍に關する



談話の要求等を満足せしむべき手配をするに至つた。

成人教育運動の發達は、最近百年間に變遷して來た各個人の責任觀と、密接なる關係をもつものである。今日の如く、工業界に著しい爭議の行はれる時、若くは國際間に問題の起つてゐる時、輿論は往々にして重大な性質を有つものである。剩さへ、輿論の力は、益々認められんとし、指揮者の勝手氣儘な行動は、許されなくなつたのである。成人教育は、吾人の前途に横はる複雑なる諸問題の解決に於て、大になす處がなければならぬ。何となれば、成人教育は、能く理性と感情との均衡を得せしめる上に大きな力があるからである。この均衡がとれて、始めて健全なる決斷が下されるのである。以上が、或人教育の極めて大體の現状である。非常な進歩を示したものと、尙僅かに問題の片鱗に觸れたのみである。英蘭及ウエルスに於ける十八歳から七十歳迄の總人數は、大約二千四百萬であるが、此の内の何割かが、斯く彼等に提供された教育機關を自ら進んで利用する以外に、放送に依つて、成人教育を何の位受けるかといふことが問題なのである。成人教育が、型にはまつて固苦しくなると多くの人々を惹き附けなくなると言ふことは、全く事實で、之を無視することは出来ない。人に依つては、幼少の時代に於ける不幸なる經驗から教育

といふ名前を聞いた丈で蟲が好かなくなる。従つて、教育の與へ得る廣汎な趣味を認めることが出来ないやうな事もある。

尙ほ又劇しい勞働に従事する大多數の人々は、夕方一日の勞働を了へて家へ歸るや、煙草一服、新聞を読み、それから靜かな勝負事をする以外、何事をしやうともしないのである。一日の烈しい仕事の後には、慰安と氣晴らしの必要を生ずるのは當然のことである。彼等は一日の終り、即ち夜以外に妻や子供の顔を見る事は殆んどないと云つて可い。だから、夕食後に講演や講習などへ態々出かける氣の起らぬのは、當然の事である。更に又不自由な身體の爲に、若くは餘り人里離れた處に住んでゐるために、夜學や講演を聞きに赴き度いと思つても不可能な人がある。即ち現在の成人教育を利用することが出来ないのである。世間には、多くの不具者、入院患者、老人、家事に忙殺されてゐる母などがある。斯様な人達に對して、夜學だの講習だのと言つた處で、問題にはならない。

更に地理的制限と云ふものがある。普通成人教育機關を設くるに際し、必要な條件が二つある。第一は、一クラスを編成し、又は一つの講習課程を作るには、必要なだけの出席志願者がなければ



ばならぬこと。第二は、彼等の爲めの先生がなければならぬこと。國內には、今猶此の二つの條件の一又は双方が缺けてゐる場所が多數にある。或る場所は甚だ狭少である爲めに、ある學科を修むる一クラス又は一講習會の志望人員六名以上を集めることが困難である。他の場所では、交通の改善された今日に頗る珍しい程不便な爲に先生を迎へる経費が到底出ないと云ふ處さへある。だからといつて、其の土地で先生を探したとも見つかるものでない。現在迄の成人教育のやり方では、斯様に人數の少ない場合とか、餘り邊鄙の地とかであつて見ると何うにも、仕様がないう有様である。

更に又、金錢若くは人物の缺乏に因る制限がある。人類が少なく且つ邊鄙な土地のクラスに、適當な教師をつけると云ふ事は、容易な經費でない。然もたとひ此の經濟上の困難が除かれたとしても、適當な先生をさう多數に見出すことは又至難な事である。最後に附言し度いのは、幸に總ての條件が完備して、一定の成人教育の行はれる場所であつても、同時に一つ以上の學科を教授して、凡ての人を満足せしむると云ふことは不可能だと言ふことである。志願者の大多數が、經濟學を欲するならば、經濟學のクラスを設けることが出來やうが、自分は經濟學は聞き度くな

い、歴史をやつて欲しいとか、又は文學を科學をと希望する人も相當にある筈である。

斯ういふ種々の制限を列擧する丈けでも、ラヂオ放送がこの間に處して、何等かの方法で甚だ役立つ仕事を爲し得と云ふ暗示は、十分に得られると思ふ。放送は、大衆を對照とし、大衆に呼び掛ける力があるので、聽取區域を擴大する計りでなく、現制度中の缺陷を補填する事が出来る。亦他の如何なる方法に依つても收容することの出來ない種類の多くの聽衆者を收容することが出來、而して自然に一層正則な教程への手引きとして役立つ事が出来るのである。

放送は、熱心な研究を暗に害するかも知れないと云ふ危惧の念を抱くものがあつた。それについて勞働者教育會では斯く曰ふ。

「放送に依る教育計畫の何れに於ても、現在大學や地方教育當局や又は有志團體（就中勞働者教育會は恐らく最も重要なものであらう）で行つてゐる成人教育事業を乗取らうとするのでは毛頭なく、以上の團體が現在行つてゐる事業の準備とか補足とかを承るものであるといふことを茲に明言して疑惑の起らぬ様にしておき度い。」と。

然も、ラヂオ放送に依る成人教育は、他の一層有効な方法にとつて代るやうな危険はないので



ある。普通の成人教育を受ける便宜を得られるならば、生徒は喜んで其の方を選ぶに相違ない。何故かといふに、先生と生徒とが直接面と向つての教授法に優るものはないからである。従來の成人教育制度とラヂオに依る方法とは、相互に排斥すべき理由がない。(兩々相倚つて進むべきである)即ち、放送講話は、屢々個人又は集團の間に研究的興味を喚起する。其の結果は、專屬の先生の居る教室で突込んだ研究をしないと、満足を得られぬといふことにある。本書第八章に於て教育放送制度と他の成人教育團體との間の提携を保つべき諸方法を提示してある。有力なる協力一致は、單に放送局と成人教育運動とにとつて價值あるのみならず、聴取者の要求にびつたり合つた放送をする事が出来るからである。

倫敦イースト・エンドのメンス・イヴニング・インスチテュート(成人夜學校?)の主任は、放送教育の問題を次の様に言つてゐる。

「放送局は、極めて重要な事を、吾々の爲めにして呉れてゐる。即ち、吾々をして一流の學者論客との接觸をなさしめ、斯くて吾々に(特に私に)力をつけて、一層の努力をなさしめて呉れる。總ての學校(而して吾々の處も勿論學校である)にとつての危険は、塵程もない——

精神上の塵である。放送局は、吾々の爲めに窓を開放し、新鮮なる空氣を與へつゝある。この事は、極めて明白な事實であると思ふので、敢て私はお話をする譯である。」と。

更に、總ての聴取者に對して、放送講話を聴かして居れば、時勢におくれさせない事が出来る多忙の人々は、自分の知つてゐる以外の新思想と接觸出来る程充分に讀書をする暇はないものである。放送講演者は、單にこの缺陷を充たしてくる計りでなく、時には書籍や雜誌では容易に得られぬ知識をも與へてくれるものである。

由來、學問には王道なしといふ事と、學徒がその選擇した研究分科を致々と學ぶに至れば、その學問に通曉して、眞の意義に於ける教育を持つ事が出来ないといふ事は、古今の眞理である。さりながら順禮の門出に當り、先づ路上に高所を求めて、神の誓はれた地を豫め望み眺める事出来るやうにすることは、殊に肝要な事である。萬難を嘗め來つて後高峰の上に到達した偉人達の言行に咫尺することは、眞の學問が要求する勞苦に直面すべき最高の刺戟を與へるものなのである。



#### 第四章 放送プログラム

如何なる學科目が、最も教育放送のプログラムに適合するかと考慮するに當つては、從來の傳統的な教室教育の境地から離れて觀察をする事と、放送上に於ける教授法に何等かの新らしき手段を發見することが先づ肝要である。

例へば、放送の重要な仕事の一は、聴取者に新知識を注入し、新らしき見解と識見とを啓示することにあることは明らかな事である。一例を挙げれば、對外關係の諸問題は、今日一般市民の生活に重要な關係を持つものである。その理由は、從來會てなき影響を他國の經濟狀態並に政治事情に依つて蒙るからである。然るに、國際時事問題に關する必要は教本とか、一般文献などと云ふ物は、全く寥々たるものである。倫敦大學、國際關係時事講座の教授ノーエル・ペーカー教授の意見では、放送は國際問題に關して、極めて獨自的な一種の責任をもつものであつて、

「この責任は第一に上述の教育的目的に對し、放送機器の偉大なる能力から發生する。第二に、それは放送自身の本然性に因る。全世界に於ける放送事業將來の發達は、各國に於ける政府當

局と、官營並に民營のラヂオ協會との密接且つ不斷の提携に俟たねばならぬ。この提携は、技術的過程及び法規の如き總ての方面に於ても必要であらう。随つて、B・B・Cはそれ自身の將來の運命を啓發するため計りでなく、B・B・Cは、國際關係に關する教育に就て、特殊の責任をもつものであると云つてもよいと思ふ。

この考慮は、第三の場合に於て一層強く云はれ得る。即ち放送機は動もすれば政治的又は國家的宣傳の目的のために汚されやすい危険があるからで、何れの國に於ても斯の如き汚瀆を輿論が認容せぬまでに、國際問題に就て確乎たる標準を定めておくやうに努力することはB・B・Cの自覺的政策の一部であらねばならぬと提言することができる。

第四に、B・B・C及び其他の放送局當事者の採る方針の如何に拘らず、放送は國際問題に就ては、輿論に何等かの有力なる結果をもたらすといふことを、如何なる場合にも記憶せねばならぬ。我國には既に諸外國の放送を聴取する大勢の人々がある。彼等は、外國のニュースや講演を聴いてゐる結果、此等諸外國に對する彼等の態度は、何うしても影響を受けることを免れない。茲に於てか、總ての放送局當事者は、既に回避することの出來ぬ直接の責任をもつ。且



つその責任は、各種専門技術の改善と共に、明かに漸増すべきものであらねばならぬ。」  
セシル卿は、その豊富なる経験から、彼の意見として次の如く言つて居る。

「——この問題中には、現在の成人教育機関が其の最大努力を致して居ると思はれる國民經濟、  
經濟史、政治史等に於けると同様に、如何なる科目に對しても不偏不黨、公平なる教育を大に  
施すやうに心掛けねばならぬ。」

而して、卿は、この調査の結果として、B.B.Cは次のことに考慮を拂ふやうにとの希望を附  
加した。

「B.B.Cの教育放送プログラム中の相當時間を、各種の國際關係の題目にさくこと。」

現在、全世界の時事問題に就て、毎週一回十五分間の講座を試験的にやつてゐるが、仲々興味  
がある。之れは斯様に限られたる時間ではあるけれども、海外ニュース中の主要なるものに就て  
講演することが出来る。

一般公衆は、英帝<sup>エムパイ、フロードカスチング</sup>國の放送事業の成行きに、多大の關心を有するのは當然である。B.B.Cの  
目的は、英帝國の福祉のため、帝國內の各放送組織を連絡することにある。大英帝國並に諸領土及

各殖民地が、相互のプログラムを聴取することを可能ならしむることにある。斯くなつて行くこ  
とが、英聯邦内社會各方面の相互關係の上にも、又は海外に移住せんとする人々のためにも、重  
要な關係を有することは言を俟たぬ。斯くて、放送に依つて自分達が移住せんとする土地につい  
て、直接に何物かを學び得るのである。

一方教育放送は、個人の日常手近な物に對する興味から出發せねばならぬことは、周知の眞理  
である。教育機関が、國民生活と漸次密接の度を加ふると共に、教育科目の範圍も亦漸次擴張せ  
られた。例へば、倫敦カウンティ・カウンシルの夜學校の中には、教育は多く寫眞術とか養禽法の  
如き通俗趣味に基礎を置いてゐるが、誰しも興味をもつ事柄に對しては、たとひ比較的難かしく  
ても興味を有つて有益に聴取するものであるから、この一般的なる養禽法をば、初等生物學や化  
學の講演の出發點にしてゐる。斯ういふやうにすると、多くの人々は「牛にひかれて善光寺詣り」  
と一般、不知不識科學の興味の中に引入られる。放送は、教育界と新らしき公衆とを接觸させ  
る事となるのである。而して、教育講話は、一般の卑近な興味から出發するならば、必ず成功す  
る。これは、特に若き人々にとつてさうである。若い人々は、總括的即ち抽象的觀念よりも、寧



る具體的物象を考へることになれてゐるからである。然し、このことは、成人の多くにも亦さうである。故に、濫古知新で、或る既知の事柄から説き起して、其後の知識と現在の經驗とを結び付けさせる原則は、放送に於ても、一般民衆の教育要求に適應せんとする場合に必ず念頭におかねばならぬ一要諦である。現にラヂオで教へて居り、又は今後教ゆることの出来る各種の知識の或るものに就て、更に詳細に考ふるとき、吾々は斯ういふ事實に直面する。即ち、ラヂオの教育放送なるものは、未だく實驗時代であるから、放送内容なり放送方法なりは、舊套的な紋切形の模倣を避けねばならぬ。

或る種の失敗を招くが如きことがあつても、實驗には出来る限りの自由を與ふることが肝要である。何故なれば、唯斯かる實驗に依つてのみ、實驗を経ずに性急に教育プログラムを型にはめて仕舞ふ危険を避けることが出来るからである。直ちに成功を博したり、聴取者から多大の賞讃を得たりしたものを選んで、一寸失敗しさうなものを避けるやうな傾向がとかく有り勝ちである。現在の状態が繼續する限り避け難いことではあるが、二種三種の電波長を有して、所謂二重放送の施設が出来れば、其の實驗も更に自由に行ひ得るから、少々の失敗をも物とせず、實驗を重ねて、

新方法の發見に資するやうにすべきである。

現在のところでは、或る學科は特に放送に適し、他のものは不適當であることは、或る程度まで確言することが出来る。第一種に屬するものは、主として耳に訴へて理解させる學科である。其の主なるものは音樂である。即ち、演出と説明とが同一感覺に訴へる事となる。尙其は精神の集中が聴取者にとつて容易である。何となれば、音樂に關する談話に於て、話の間に適宜に演出を交えんと、講演者が云はんとする事を明確にする助となるからである。この演出を伴ふ音樂の談話の放送は、音樂の理解の上に顯著なる効果を持たねばならぬ。かういふ重要な教育課目に於ては、聴取側で良好に聴くといふ保證さへつけければ、通常の講演に比して遜色なき放送をする事が出来る。幸にも、B・B・Cでは放送技術に堪能なる音樂家サー・ウォルフ・オード・デビス氏を得てゐるので、今後より多くの放送時間がとれるやうになれば、同氏の仕事が發達する事を示して居る。例へば、聴取者に必要のない緊張を與へないで講話時間を増すことが出来る。同時に全國の音樂協會、音樂祭、合唱隊其の他の團體との協力に依つて、他の方面の活動も進めて行ける。英蘭及び蘇格蘭のキリスト教青年聯合會は、この問題に就て一の覺書を提出した。



「全國を通じて音楽の演奏と理解の向上とを計る上の媒介として、更にラジオを使用するやうにならう。『コンサート』式のプログラムの外に、『教育』政策のもの、例へば、男子の聲樂合唱の如きもの、發達を目的とするやうに進めて行かねばならぬ。成人教育の音楽方面を形成する、これらの多くの活動を助けるやうに放送を使用し得ることは、これまでの經驗で證明してゐる。従つて、吾々は、この方面に於ける協力が、總て成人教育政策の一部分を占むるやうになることを希望する。」

音楽に就て述べた事柄は、同時に又文學、特に詩やドラマにも適合する。美辭麗句を單に朗讀するだけでも、大きな價值がある。詩を誦すると、それは忽ち聴取者の頭に生きて來る。そして、書物などの印刷したものからは、抽出することの出來ない一種深遠な意義を、その中に見出し得る。この事は、聴取者が流暢なる読み手でなく、又未だ讀書に趣味をもたない場合に特に充當することが出來るのである。ワーウィクシャイヤーの地方圖書館のブローニング嬢が、彼女の舉證中に斯う述べてゐる。

「良い學校に就學してゐる一部の兒童を除き、田園地の圖書館では、詩の書物を讀むものが尠ないにも拘らず、村落の聽衆に詩を誦して聞かせると非常に歡迎されることは奇異なる一事實である。これは、書物を借りる多くの人々が、彼等自身に韻律を感賞し得るまでに、流暢に之を讀む事の出來ないことを示すものである。韻律に親しましめることに依つて、ラジオは詩の朗讀を奨励する上に多大の効果がある。私は七時十五分に、音楽獨奏をやるやうな方法で、詩の朗讀を放送するやう提案する。又適當なる詩の番外的朗讀をも望む。ラジオに於ける驚異的價值は、未だ充分に認められて居ないやうである。」と云つてゐる。

テキストを、その通りに朗讀することは、放送の主要なる一部であらねばならぬ。そして、必要な處へ簡單に註釋を施すこともよいが、餘り文學上の年代のことや、聴取者が今後讀むやら讀まぬやら判らぬやうな、餘り片寄り過ぎた書物や著者についての學者的な批評などを話すことは甚だ價值を減するらしい。散文や詩を、適當なる註解をつけたり又はつけずに、一般プログラムの中に入れて朗讀して見ては何うかと思ふ。これは、未だ充分やつて見ないものである。

音楽も劇も、共に聴取者の集團に對して、生き／＼した手答へを生ぜしめる點で多大の効果があらう。今日、國內至る處にドラマに對する興味が増加しつゝある。そして、町や村で芝居を旺



に行ふのは、明かに教育的價值があるのである。老練な藝術家が脚本朗讀をラヂオで行ふのは、この仕事に高い標準を設定する助となるであらう。而して、希望する演劇が放送され、尙ほ演出衣裳、舞臺装置等に關する話をも放送されることに依つて地方團體との連絡が確立される。

最後に、語學（英語並に外國語）は、放送に特に適當なる學科の内に入れられるべきものである。放送に依つて讀方を行ふ事は——これは、標準語でも方言でも何れでもよいが——上品な英語の美しさを聽取者に感得せしめる役をなすであらう。而して、語辭、談話の形式、言語の構成等に關する講話を行へば、更に一層の理解を得るであらう。外國語の教授に就ては、放送は明かに多大の活躍が出来る。資力に乏しいために、旅行をして其國の教師について言葉を學ぶことの出来ない學生にとつて最も困ることは、その言葉の實際の發音をきくことが出来ぬといふことであるが、この困難は、放送に依つて除去することが出来る。而してB・B・Cの各局から佛語、西班牙語及び獨逸語の談話の定期放送に依つて、既に多くの有利なる仕事を行つて來た。ラヂオの語學教授の成功したことは、既に第一章に述べておいたが、然し、未だ——實驗の餘地が充分にある。スタジオの内で、實地の會話をやつて見せることも有益である。獨逸の放送局は、

語學教授に多大の時間と考慮とを費して居る。例へば、獨逸での英語教授は、通常英人と獨逸人とを一名づゝマイクロフォンの前に立たせて、英人は英語だけで話し、獨逸人は之に對して説明し且つ質問をする。漸次程度の進むにつれ、英人が全部英語で談話をするやうになる。斯ういふやり方を少々やつて見るのも、極めて有益であらうと信ずる。教育放送の時間が増すことになつたら、今よりも頻繁に語學課程を設けること、それから在來の外國語以外に他の國語をも差加へることを希望する。一國際語を放送で教へるといふ問題については、幾多の困難なる問題が起る。放送は、一つの國際語を活かして働かせるのに好機を提供するといふことが出来る。何となれば放送の性質は普遍性であるから。假に一國際語を採用した場合に、國に依り人種の相違に依つて語法や發音のまち／＼になる傾向を防ぐことが出来るからである。然し、多くの主張者間に一致が出来るまでは、猥りに推擧をなすことは困難である。

この次に放送に適するものは、寫實的、敘述をなし得るものである。あまり多くの實驗、數學的若くは圖解的説明を要しない科學、健康と衛生に關する話、諸外國の場所及び住民に就ての話、歴史的スケッチ等がこれに含まれる。放送の講師が日常の事物及び體驗を通じて聽取者の心を惹



き付け、爲めに講師のいふ事柄が、餘計な幫助をしなくても容易に理解されるやうになればなる程、其の講師の擔任の課目が放送に適する。更に亦、若し其の學科が、聴取者の想像に訴へられた事物に就て彼等の鋭い好奇心を満足せしむるものであるならば、講師の骨の折れ方が其れたけ少なくてすむであらう。此の理由で、家庭及工業への應用化學と應用物理學を應用すればラヂオ放送に有益に利用せられるけれども、さうしたより抽象的な物理學などよりも、生物學や博物學の如き學科が一層成功するらしい觀がある。これ等の教授は、單に聴取者に通俗科學知識を少し計り嚙らせることを目的とするものではなく、全般的に均衡のとれた觀測をなし、且つ科學者の研究方法に內的觀察をさせるやうにしなければならぬ。サー・オリバー・ロツヂ並にサー・ウキリアム・ブラツグの講話は、この卓越したる好例である。

同様に、旅行に關する紀行談は、國內及び外國に對して、一般的興味を導き、歴史や地理の教授の助けとなり、社會及び政治組織の研究にも役に立つ。故に旅行談の放送は中々評判がよい。旅行談は、一方に聴取者の想像力に直接訴へ、他方に著しく外遊を鼓吹する。

放送に依る歴史教育法は、未だ完全に調査されては居ない。然し、今迄やつた處に依ると、其の成績は有望である。傳記物を放送する方法は、有益であることが知られた。然し、これは、必ずしも歴史的知名の人物の傳記には限らない。或る講師は、往時の年代記や莊園記録中から典型的人物を描寫して「古代村落の生活」なる題で、活氣に富んだ話を、六回講演することが出來た。他の講師は、亦十九世紀初頭の社會史の講義に現實味を與ふるために、小説的傳記を創案することの利益を發見した。歴史に關して別に素養なき人々に對して、事件の年月とか表とかを用ひずに、聴取者自身の生活に何か關係のあるやうに、現實的に過去を見させるやうに、人々の興味や經驗を聯結する方法を講ずるやうに、歴史を教ふことの出來ることを實驗に依つて知つた。古代からの「各時代の歐洲」といふ題目の下に、目のあたり繪を見るやうな觀察を、一九二七年から二八年にかけて冬期に放送したが、これは顯著なる成功を收めた。或る聴取者は、古代歴史がこの様なものであつたとは、夢想だにしなかつたと言つて來た。

學科によつては、放送に不向のやうに見ゆるものがある。その理由は、教へてゐる事柄を順を追うて一々説明をし、又教へて、これを實施させて見るといふやうな事が不可能なためである。例へば、數學その他、解し難い科學に就て其の然る所以を見るのである。



過去に於ては、専門教育と非専門教育との間に、劃然たる限界線を引いてゐたが、今日では兩者の懸隔は分明でない。それは、専門學科が、より廣汎なる興味と連絡すべき方法に取扱ひ得られることが實感せられるに到つたからである。然し、當今の處では、この生きた興味を、自己の講演中に與へ得る人が、専門學科の教育に携はる人々の中に比較的尠ない。こゝに於てか、其の道の知名の老練家の講演を、プログラム中に編入して、この方面の途を拓くやうに努力することが緊要となつて來る。今後成し得ると考へられる一實例を舉げると、クランプ教授に依つて與へられた電氣工學史の連續講話のやうな物である。この講演は、永久に興味を持つて聞かれるだらうといふのは、工業専門學校の生徒や、其他の團體が熱心にこの講話をきいたこと、講演者の受領した手紙、及び講演者が提出した質問に對する答案などで知る事が出来る。この課程で放送をした結果、一般通俗科學に於けると等しく、通常成人教育プログラムの中に含まれて居ない各學科に對して、尙ほ満たされざる多大の要求があることを證明した。

放送プログラム中に、農業、商業又は工業に従事する人々の援助となるやうな課目を編入すべき事は、それらの課目が明かに絶對的緊要であるのだから、其の必要を今更論するまでもないことである。例へば、一農務省官の實證は、目下行つて居る時事的な重要事項について農業者に二週に一回の實踐講話や、毎月一回の最近の農事研究、又は實地應用の結果についての講話は、頗る重寶がられてゐる事を示してゐる。報告に依ると、此等の聽取者は、農夫のみではなく、その妻君も娘をも含むとの事である。尙義務教育修了後の繼續教育のために完全なる設備のない田舎に住む少年少女等は、彼等の要望を教育放送中に考慮してもらふやうに主張すべき十分の權利を持つてゐる。

保健教育も亦同様に適當なるものである。云ふまでもなく、この講話は、病氣の話や其の手當看護の事を取扱ふのではない。健康のこと、それからこれを維持する方法を述べるのである。衛生、食物、營養價並に育兒法の講話は、大いに意義がある。これ程評判のよいものは他に少ない位である。保健省の意見に、保健教育は、教育放送の重要な一部であると。さうなり得ると云つてゐる。

総合的な教育放送プログラムの一部分となるべき社會學といふ諸種の學科の集合したものに就てこれから述べやう。先づ、何故に社會學のことを考察するかといふと、この學問は、社會の重要



な門に屬する人々の有力なる利害關係に合致するからである。これ等の人々の多數は、彼等の求むる知識や指導を容易く得られる手段として、放送に期待するのである。

公民権や通俗經濟問題の初歩の話や、土地に關する諸法令の吾に及ぼす影響、又は公益事業に依つて與へらるゝ各種の利便に關する放送などは、相當需要があると認められる實證が擧つてゐる。政治學原理と經濟學とは、就れもそれらが實際的に取扱はれさへすれば、成功し得らるゝ見込がある。例へば、經濟關係の或る問題を討論するとき、史實若くは現代社會組織中の事實から問題の提出されるのは自然の事である。一つの學説は、諸事實の綜合に依つて、或は事實を説明し得る基礎に立脚した假説としても示すことが出来る。總て、これらの課目を課するに當つては聽取者の興味を刺戟し且つ之を保持せしむることが肝要である。日常の體驗と何等交渉なき單なる學究的討論は、斯う云ふ譯に行かない。聽取者自身の討論は、他の場合よりも一層著しく講話の價値を増加する。社會現象を註釋しやうとする試みは、結論に行つて大變相違することになるのは勿論のことである。而して、これらの結論は、自由に明白に陳述して、間違つて確實だと安心させるやうなことなく、思想や思索を正しく持たせることが肝要である。これは、論争に關する全體の問題に導いて来る。

英國放送會社が初めて設立せられた時、郵政長官は、プログラムに對して全般的檢閲を行ふことになつた。而して、宗教、政治、若くは工業の論争に關する一切の事項は、放送してはならぬと規定した。元より此種の事項の放送を、永久に禁止する意向ではなかつたが、唯放送の如き無限の力を有つてゐる新しき媒體の實驗時代に於て、最初の内のプログラムは、無事無難な常道を踏ましめ、敵意や抗議を喚起することを避けた方が賢明であると感じたからに過ぎなかつた。會社が協會となるや、郵政長官は試練期間を命じ、其間論争事項の放送を避くべきことを命じた。尤も、これを詳細に監視する責任は、郵政廳をはなれてB・B・Cのガバナー達に移つたのである。従來執り來つた政策は、明かに公衆が協會の公正と慎重とに信頼を置き得る迄の間實驗をなさしめて、漸次進捗發達を爲さしめる一時的政策であつた。この記事が書かれた後、論争に關する禁令は緩和せられた。然しながら、此の頁は教育放送の上に重要な關係をもつ故を以て保留せられた。

吾々は放送から論争事項を切り離すことは、個人に對しても公民に對しても、又男子にも女子



にも最も刺戟を興へ、且つ最も重要なものを全く切り離すことであることを、堅く信ずるものである。吾々は、論争事項は、哲學、政治、藝術、其他總ての思想の分科に於ける幾多の見解に就て、主なる代表的人物をマイクロフォンの前に送り得る放送機能の最も重要な一事項であることを認める。聴取者が、權威のある、合理的な公明正大な態度で聲明される言論の各相違點を、忍耐と平靜とを以て聴取し得る習慣が附いたならば、夫は國民全體の上に最も健全な効果を齎らす筈である。論争は、その辯士の論法が議論を挑發するに足るだけの充分に力強い手答へのある討論である必要がある。

この機能をして完全に遂行せしめんが爲めには、これが運用の方法が喫緊事であることは元より明かである。放送は、印刷せられたり話されたりする言葉とは、自ら異なる特質を有する。ラジオの講演室は、開放してあつて、四壁も戸もないのである。放送される事柄は、年齢の如何教育程度其他を問はず、總ての人々の耳に到達するのであるが、一面に於て、放送は、能ふ限り人間の思想や思索の全般を包括せねばならぬ。そして、この教壇には、教養や經驗に依つて一家をなした總ての人々をつれて來て、この責任ある事業を完成し度いと信ずる。マイクロフ

オンに向つて語るべき人々の撰定には、嚴密なる注意を要し、又論争的事項に至りては、適當なる責任感を持つ人々であることを確めるために嚴重な注意を要する。一旦選定した以上は、強ひて提出させてある原稿通りに講演するやうに束縛をせず、能ふ限りの自由を興へるやうにすることが必要だと考へられる。この點に關しては、大學の有力な傳統がある。即ち放送講演者は、此の普遍的媒介（即ち放送）の分明なる制限内に於て、大學講師と同様に、論争事項に對しては自由であらねばならぬ。

政黨派の具として放送を使用することは、極力之を避けねばならぬが、政治學、社會學、並に經濟學に關する課程は、教育プログラム中の重要部分であるべき筈である。吾々は又、辯論と討議は論争的事項を取扱ふ上に最も効果あり、且つ一般的方法であると信ずる。ここでは、演述者は明かに黨派人であるが、聴取者は、比較的平靜な心を持って之れを聴取することが出来る。何故なれば、この場合フェアプレーの空氣があるからである。

吾々は、出来る限り早き機會に於て、辨論と討議との區域が尙一層擴張せられ、之に依つて一般的興味を有する主要なる多くの問題を取扱ふことの出来ることを希望して止まない。



## 第五章 聴取者と其の困難

聴取者が放送プログラムに依つて最大の利益を得んが爲めには、先づ聴取者自身で肝要な役割をつとめて貰はなければ成らぬ。若し、聴取者にして豫め番組の研究もせず、單に受信機をスウキチして、芝居とか、歌とか、又は講演の如きものを、中途から聞くが如き場合には、其の趣味や、注意力の喚起並にその持続は、稀有である。之れに反して、若し聴取者が、自分の好きな演奏とか、歌劇とか、或は講演とかを豫め充分に調べて置くやうにするならば、十分これを鑑賞することが出来る。軽い音楽や通俗的な音楽なら、何か他のことをしながらでも聴いて楽しむことが出来るだらう。それに、何時もラヂオを聴いて居ると、遂には他の仕事をしながらでも聴き得る様に成るのは事實である。

今迄古典音楽とか、講演とかを態々聞かうと思はなかつた多數の聴取者でも、習慣的に氣まぐれに聴いて居る内には、遂に之に興味を感じるやうになつて来るものである。之が、教育放送の主たる附帶物の一つである。然し、定規の聴取者や研學的の聴取者は、自分が聴きたいと思ふ題

目を協力して詮衡する位にならないと、放送から最大の満足を得ることは出来ぬ。

以下の數頁は、主として放送を知識や趣味を増加する爲に利用したい聴取者に關して述べるのであるが、然し、B・B・Cが過去に於て採用せる適切なる放送は、依然繼續の必要を認むることを再び力説しおく。此の方針の主眼は、多忙のため實際の研學に多くの時間を提供することの出来ぬ、又はさういふ程度まで氣の向かない一般公衆、而かも此の新しい媒介物たる放送に依つて、新らしい觀念新らしい見解乃至新らしい同情心を持ちつゝある人々の注意と好意を得ることに在る。若し、此等の人達の要求に對し、頁數を費さるゝこと少な過ぎる様に思はれる事がありとすれば、夫は左の二つの理由に據るものである。即ち、其の第一は、B・B・Cは既に之等の人々の希望を諒知して居るから。そして、過去數年間に得たる經驗から、之等の希望に満足を得るに十分であるために。第二は、更に組織的な教育放送事業は、今猶ほ搖籃時代に在るためである。従つて、この調査は、重に組織的放送事項に關聯してゐる。但し多數の聴取者にとりては、この種の放送は、何等の感興を起さぬかも知れぬが、然し、時の経過と共に案外迅速に又廣く興味を感じて來ることであらう。



放送は、研學的聽取者に普通の成人教育方法に於ては見出し能はざる數々の利益を與へる。先づ第一に聽取者は、講演を聽く爲めに外出する必要がない。講習なり學校なり講演なりに出かけやうとする場合に、天氣が悪かつたり、又は周圍の不快感など爲め熱心をそがれると云ふ事があるが、放送に於ては、そんなことがない。斯かる利益は、又一般婦人のやうに、一家庭の束縛を有つ者には特に有難いことである。第二には、聽取者に經濟的犠牲をかけることが比較的僅少である。尙ほ、教育放送は、入學手續の如きものが要らぬ。聽取者は、直ちに偉大な學者や、熟練な講師に接することの出来る、即ち、大集團の學生仲間に入れる譯である。然し、之等の利益は、他面に於て、學生に危険を伴つて来る。如何となれば、學問の要道は努力にあるからである。又聽取者側から云へば、教育放送には、相等の不利益な點がある。例令ば、自分が希望する講演が放送されてゐるとき、自分の方で其の時間に繰合せをつけねばならぬ事である。又放送の時間が短かい。其の結果、所定時間中に希望通り潤澤な講義が聞かれぬ事もある。尙ほ又、彼等の家庭は、成程居心地もよく、且つ便宜ではあらうが、家庭其物に附屬して居る物の爲に、注意力を散漫にさせられるかも知れぬ。即ち、子供が騒いだり、家内の者が世間話をしたり、又は家事向の仕事に氣を取られると云ふ様なことである。最後に、大氣の状態とか、技術的の點で、自分の受信機で良好な受信が出来ない場合もある。

教育放送の提供する利便を満足に利用する上に、技術的のことは極めて大切な事である。受信機が二流以下のもので、受信が悪い場合には、人間の聲に耳を傾ける愉快と利益とが害はれて、講演の教育的價値を最小限度に低下させる事がある。之れは、討論を高聲器に依つて聽取する場合に、特にさうである。受信者側で、舌の廻らぬ噎れた人間離れのした聲に變へて了ひ、おまけに何時の間にか全然聞えなく消えて行くやうでは、講演價値の大部分が失はれて了ふ譯である。集團として聽取する場合、高聲器と戴頭受話器との夫々の價値に優劣が出来る。双方共、夫々支持者があつて、論争が盛んである。良い戴頭受話器で聽く方が、貧弱な高聲器よりは勿論遙かによい。而して、全體から見ても、専門的智識のない人には、取扱ひが簡單である。然し、團體で聽取する場合に、一々受話器を使用せしむるのは、多大の經費を要するから、この場合には多くの高聲器を用ゆる。此の問題に關し、左に掲ぐるシリルバート教授（倫敦郡會教育課勤務の心理學者）の陳述は、有益なものである。



「二三人の見えない人々の話を、受話器をかけて立聞するのは、如何にも不自然に見える。受話器できくのは、私の考では、幾分放送時間が制限されてゐるときの方がよいだらう。若し高聲器の備付があつて、而かも、講演が僅か五分か十分間で終る様な短かいもの時には、誰れも受話器をかける人はあるまい。勿論、高聲器を使用するであらう。然し、講演が相當に長い場合には、受話器を選ぶであらう。處が、其の講演が大分長いものになると、受話器ではうるさくなる。(此の點は個人々に依つて大分異論がある。)クラスの授業を目的とする講演は、殆んど常に高聲器を必要とする。斯くの如き場合、折角多數の人が集まるのだから、相當永い講演となる。畢竟種々な方法の中でも、集團聴取の場合に、高聲器を使用すれば、聴衆を疲勞させたり、又は退屈させる事が少ない様だ。」

扱て、ラヂオ討論團は、高聲器の出でゐる場所に任意に列席することが出来るが、一度なり二度なりの會合が面白くないと、直ぐに失望して解散して了ふ。特に最初の内はさうである。かういふ點は、如何にも普通の成人に對する學校に酷似して居る。故に、受信の不良なことは、教育放送普及上の最惡の敵である。不良な受信機を以て講話を受信する團體は、斯くの如き團體に入

會せんとする幾十人を失ふ事となる。この故障は、既にB・B・Cに於て學校相手の放送を擴張するに當つて認めたことである。即ち、餘り感心の出來ぬ機械を使用した爲めに、或は又良好な受信機でも、保存法が悪くて能く働かない爲めに、折角有望な多數の實驗を臺なしにしたのである。

夫故に、ラヂオ討論團が組織されて居る處では、ラヂオ装置をして最高能率を發揮せしむるやう保存を確保するには如何なる手段方法を講ずべきかが問題となる。學校相手の放送をやるに於て、B・B・Cでは、既に多數の技術者を雇傭し、學校を巡回せしめて、使用受信機の能率を良くすることに努めてゐる。何れにしても、發達の初期時代に於ては、成人團體の爲め同様な援助を與ふべき何等かの設備の必要がある。この點については、後章に説くことにする。

最早今日では、不良受信は、原則として避け得らるる障害となつた。ラヂオの技術方面の問題が全部解決したと主張する人はないが、それでも演説や音樂の受信は完全といつてもよい程度までに達してゐる。そして、適當な部分品と回路を其の用途に應ずるやうセツト製作上使用するならば、放送された通りの音響が受信されない道理が少しもない。即ち、この場合、聲の歪みや外部からの干渉は別だが、嫌な雜言などなしに受信出来るといふのは眞實である。處が、信用の篤い



會社、商店などで設計した受信機が市場に出て居るが、其の小賣値段は資力の乏しい人には手が出せない。其の結果、多くの場合現に實用に供せられてゐる受信機の大部分は、技術上の知識よりは寧ろ熱心の方が勝つてゐる素人の作つた物の方が多く、従つて、屢々其の用途に適合せぬものがある。聴取者中には、完全な受信機に依る放送の眞價を知らず、不良な聴取で我慢してゐるものや、とう／＼我慢しきれぬものもある。

此の問題の解決に對する一寄與として、本書附録A中に、集團聴取用受信機の種類、構造及用法につき、本協會設計の受信機の詳細を掲げてある。此のセットならば、指示の範囲内に於ては、演説や音楽を純粹に受信し得ることを保證する。但し、之は勿論經費といふ難問題を解決するのではない。此の經費問題は、次に掲ぐる二方法の中の何れかで解決されると思ふ。即ち、二三の團體が協同して購入することである。又多くの俱樂部や學校などで、適當な受信機を求むる資金を出すことが出来やう。少女俱樂部本部の提出にかゝる實驗に依ると、此の資金を得る爲め、特別な努力をした處が、直に夫が集まつたといふ事である。次の方法といふのは、レヂヨナル・スキームに依る大電力放送所の設置に依り、簡單で安價な受信機で聴取出来る範圍が著しく増大した

ことである。此の計畫は、既に擡頭してゐることである。レヂヨナル・スキームは、現在よりは安價に遙に大多數の聴取者に聴取せしめることを可能ならしめる。成人教育の見地から、本計畫は、單にこの方法に依つて二重プログラムが放送せられるといふのみでなく、猶ほ安價、簡單なる受信機の持主を、教育的圈内に入れんとする實際の必要に迫られたものである。第一、完全な教育放送が、安價なセットで比較的僅少な維持費で、何人にも聴取出来るやうにせねばならぬものと考へるのは、無理な話である。第二、經濟上餘り豊でない多くの人々は、貯金をするとか濟しくずしの方法で、恰度現在自轉車や蓄音器の代金を支拂ふと同様の方法で、斯様な放送を受入れる爲めの支拂ひをすることも出来やう。教育放送に伴ふ利害得失の點は暫く措き、眞面目な聴取者は、如何すれば教育放送から教育的最大價値を得るかを考へる必要がある。先づ第一に、聴取をして有効ならしむるには、聴取者側で精神統一と注意とをなすに必要な要求である五感の中の一つの感覺（即ち聴覺）のみに訴ふる事となるが故に、教育價値上に大なる損失を招きはすまいかと憂ふる人士の爲めに、バート教授の覺書より次の一節を推奨する。

「此の新しい通信方法は、成人教育に對し——恐らく兒童教育よりも遙かに多く——異常なる



可能性を持つて居る事を、誰も肯定すると私は信ずる。若し、放送を活動寫眞と比較するとなると、前者の教育上に及ぼす廣汎にして且つ健全なる力は、後者の限られたる知識上の感化力とは雲泥の對照を見る。況んや、後者の傾向が、多分に不健全に傾けるに於てをや。前者が斯の如き信用を贏ち得たる所以は、偏に放送事業の組織とプログラムの選擇と編成とに妥當なる判斷を用ひた爲めである。

然し、未だもつと根本的な理由がある。活動寫眞にしても、ラヂオにしても、共に我々を一感覺しか持たぬものとしてあしらつてゐる。即ち、活動寫眞の方では、我々を聾者扱ひにし、ラヂオの方では、盲者扱ひにしてゐる。扱て、一般世間の意見に反して實際は聾の方が盲よりも遙かにハンディキャップがついてゐる。先天的の聾者と先天的盲者との教育上の進歩が明示する如く、永久的に視力を奪はれる方が、永久的に聽力を奪はれるよりも知的教養には障害が遙かに少ない。人間の知識上の優越は、視力よりも寧ろ言語に依るが故に、音の調子や質の極めて微妙なる差異を聞き分ける耳に依るのである。夫故に、將來何んなに巧妙に開發されて來ても、單に視力にのみ訴ふる教育手段は、單に聽力にのみ訴ふるものより、効果遙かに少なきを常とする筈である。

然し、視覺及び其他の補助が、放送の講演に補助物として重要な役目をする。放送は、其の媒介（即ち聽覺）の独自の性質を十二分に發揮して、成るべく他の感覺と獨立的に進まねばならぬけれども、有ゆる補助的助力を、然ういふ餘分の助をかりやうとする聽取者に提供させねばならぬ。之れには、テレヴィジョンの發達は、教育放送の可能性に有力なる増補となるであらう。繪畫の力の主要なことは、教育放送に益々認められて來た。或る種の科目、例へば、音樂、又は哲學等の如きは、補助として繪畫、圖式、諸表等を、重寶なものとするに相違ないが、必ずしも、これなしで教育が出來ぬといふものではない。然し、科目の内でも、専門技術、歴史及美術、それから、博物の如き多數の科學的科目や、或る種の旅行談をする上に、圖解は殆んどなくてはならぬものである。

B・B・Cは、出版物の發行が放送に樞要なる附帶であるといふ結論に到達してゐる。ラヂオ・タ イムス及びウォールド・ラヂオは、已に早くから各地に配布せられ、配布範圍は逐次堅實に廣まつてゐる。一度の講演とか連續講演をきいた後で、夫等の話につき印刷したものを讀みたがる聽取



者が多い。此種のもものが、臨機前記二雑誌に掲載されてゐる。B・B・Cでは、其の他に諸學校や成人の爲めに詳細な記事や繪のある講演、講義のプログラムを印刷配布し、普通詳細な要點が書いてあり、討論上の注意が記され、参考書籍目録や挿繪のある有用で便利な『研學の葉』といふ小冊子の擴張を計つたが、其の結果は良好である。

放送當事者に依り、繪入の週刊教育雑誌の刊行が非常に要求されてゐる。其の内容には、目下小冊子に印刷されてゐる或る事項とか記事とか繪とかの形式で、もつと附加的及補充的の材料を入れ度いといふのである。斯の如き雑誌の發行は、直接教育事業の効果を増進することになり、間接には一般知識及報導の材料を供給することになつて、教育放送には價值ある役目を果すことになる。

『研學の葉』なる小冊子の研究は、直ちに最も緊要な問題即ち書籍供給といふことを導いて來る。聽取者が、自身で讀書をするやうに極力獎勵することは、肝要な事ではあるが、單に聽取者に參考になりさうな書名丈けを知らせるだけでは充分でない。成人教育の教室では、現に教師の選定した書籍を學生に供給してある場合でも、經驗上彼等の讀書の手助けをし且つ指導をすると最良の結果を得られることが判つてゐる。各課程に對し講師が提出した短い書籍表を、現在講演プログラムや小冊子で扱つてゐるやうに、印刷を繼續せねばならぬ。出來得可くんば、講師は何々と云つて一冊の書名を指定せずに、何々の本の何處の處といふやうに、参照個所を擧げるやうにし度い。それから、本の内容に關して簡単な注意をすることが、學生の趣味を喚起するやうである。然し、讀書の指導の効果は、B・B・C及び公衆に書籍を供給する役目をして居る全國の圖書館が、極めて密接な協力を依り充分に發揮することが出来る。

一九二七年の夏季の初めに、左記事項に關する照會狀を、B・B・Cから全國圖書館へ發送した。

(一) 最近三ヶ月間に於て、讀書に對する要求中、書籍の種別上、放送の影響を認めらるゝや。若しありとせば、如何なる講演が特に成功せしや？

(二) 貴館受持ち地域内に、讀書向上の爲め、貴館とB・B・Cとの協力につき、更に御氣附の點御教示を乞ふ。

如上照會に對して、應答のあつた全國圖書館中の大部分は、成人教育講演に際し紹介せる書籍の發行が増加したる旨の報告があつた。之れに依つて見れば、放送は、一般公衆をして軟い書籍



を読む傾向を持たしめ、又は眞面目な讀書癖と研究心とを頓挫させはしないかといふことは、杞憂であつた事が判つた。

公設圖書館の従業員達は、喜んで講演講話の番組を配布する事と、圖書閱覽者に教育放送のあつたことを知らせてやらうといふ事を申出て來た。或る圖書館の如きは、講演に關する圖書目録と、其の館の藏書とを對照して、小さい表を作り、斯々の書籍は、其の館にあると發表した。

數ヶ所の圖書館は、放送講演者の推薦する書籍を買ひ整へるし、又書物のないやうな場合には、全圖書館で夫に代るべきものと思ふ書籍目録を作つて居る。或る郡設圖書館では、貸出書籍の箱に、放送講演番組表をつけてゐる。此の如くB・B・Cと公設圖書館との提携は、極力強固にしなれば成らぬ。一方B・B・Cと其の講演者と、他方公設圖書館側とが相談して、書籍目録を調製し、又公衆に推薦書籍の購入を奨めることなどを協定するもよい。そして、時々、公設圖書館側から書籍の使用法や、公設館の與ふる設備についてラヂオ放送をなす事は、相當利益があらうと思ふ。尙ほ公設圖書館は、ラヂオの討論團體進捗の助となり得るであらう。公設圖書館の多くは、團體の集會に適する室を持つてゐる。然し、圖書館側で斯様な部屋を團體に貸して呉れるか何う

か、たとひ圖書館で受信機設備のある場合でも、それは疑はしいことである。此の問題に關して、公設圖書館に關する最近發表の文部省報告（C M D 二六六八、第二一六項）では、左の如き推奨をしてゐる。

公設圖書館令は、公設圖書館當事者が、(一)圖書館の利用を増進すと考へらるゝ目的の爲めには、圖書館内の部屋を使用せしめ得るやう、(二)其の目的の爲めに講演等(中略)を開催し得るやう、(三)右當事者が適當と思考する各目的の爲めに、有料若くは無料で圖書館の構内を使用せしめ得るやうに改正せられざるべからず。

若し、この推奨が不日法律となる曉には講演放送及受信機の設備は、公設圖書館の教育任務の圈内に入るべきものと見做し得るであらう。勿論放送事項の版權並に再傳播については、或種の困難が附隨して來るだらうが、然し、教育の目的の爲めに受信機を設置する團體自身が放送を受ける場合、此の障害に打勝つことが出來やう。(即ち其の聴取は違法でないであらう) 心と心の接觸は、如何なる形式の教育に於ても緊急なる要素である。放送に依つて興味を刺戟すると、自然他の人々と討論研究をするやうになる。それから、討論團體を組織することになるものであ



る。此の種の團體は、其の性質上普通の成人教育のクラスよりは、幾分形式の度が少ない。其の或るものは、暖爐を取巻く人々の集りとか、又は俱樂部、社交會、又は學校の如く、他の目的の爲めに集まる社會的、教育的運動に關聯することもあらう。此様な組織の會員が、始め別々にラヂオの講演を聞き、後に其の題目について討論して悪いと云ふ理由もない。

斯くて、個人にも團體にも趣味が生じて來ると、始の内は非公式であつたものが、漸次形式的な成人教育になつて來る場合が往々ある。個々の聴取者の爲めに研學の手引をすることは、B・B・Cの事業中常に大切な部分ではあるが、同時に出来る丈けのことをして、其の研究を持續したい熱心な聴取者を奨励して、現に此の目的を以て設立せられたる成人教育團體の與ふる利便を利用させるやうにせねばならぬ。

團體聴取の爲めに行ひ得る如上の實驗の結果は、甚だ有望である。イーストエンド男子學會からは、ホワード及びウイバアーフオースに關する講演を聞いて、今度は社會史の課程講義を放送するやうにと申込んで來た。サセックスの勞働者教育協會は、バアリオルの教師の哲學講義を聞き、次はプラトリーの「共和國」を讀まうと手配してゐる。ケンブリッジでは、五十二團體が合同し

て、遺傳問題に關する講演放送後、一時間の間之に關係した質問と討論とをする事にしてゐる。イースト・アングリアでも亦、同地の博物館から無料で提供された講堂に會合して、前述と同様なことをやつてゐる。ストック・オン・トレントではスタッフオドシヤイヤーの工業に關する放送課程中の問題について論文を募集し、優等者に書籍を贈ることにしてゐる。此の懸賞の寄贈者は、アーノルド・ベンネット氏、ジェー・シー・ハモンド氏及バーバラ・ハモンド夫人、フランク・ウエチウード少佐、サー・フランシス・ジョセフ、ストーク市長、視學官及ストーク驛長等である。

討議團體の多くは、其内に一人二人の中心になつて肝煎りをする人のあることは明かである。斯様に團體の指導者は、仲々重大な役割を務めるものだ。指導者の任務は、其の團體の討論議題を作つて、講習者と同僚會員の接觸とを計り、次に本部と講演者との接觸を計り、それから討論を奨励したり、指導したりするのである。指導者の仕事は、決して簡單なものではない。團體が聴取の爲めに一緒に集合且つ總ての準備をしてある場合でも、討論が自働的に終結を告げるものではない。何事もこの指導者が討論を擔當する能力と、豫め其の指導の準備如何とに依る。指導者の人選は、討論などをなす上に幾分の訓練を有する成人教育クラスの卒業者から、又は他の相當



の経験者か先天的に討論上指導者たる能力を有する者から撰べばよいであらう。各種の有志團體が、教育放送の發達に特に助力してくれるのは、討論團に其の指導者をおくといふこの方面に就いてあると思ふ。

## 第六章 放送講演者

講演放送の技術は、種々の點に於て、普通一般の説話及び成人教育の放送技術とは相違して居る。此の差違は、其の経験のない人達には判らない事だが、多くの聴取者には明かに判つてゐる事である。尤も、聴取者自身は、何處に其の缺點があるのか、其の診断はつかぬが、とに角聴き度なくなつてスキツチを切る丈は確かである。是等の内、或種の不都合は、媒介物であるラヂオ夫れ自身に基くものがあるかも知れぬが、其他は、放送状態に依つて生ずるものである。

講師の立場から見ると、この放送に附隨して起る困難は、一見極めて顯著であると思はれる。講師が、講演の打合せにサヴォイ・ヒル B・B・C 所在地に來た場合、其の講師がこれ迄純然たる教育的環境に慣れてゐる人ならば、二種の雰圍氣を其所に見出すであらう。それは、其の人の性

分にも依るが、何んとなき焦燥であつたり、滑稽であつたり、オズ／＼したり、或は何處となく氣に合はぬやうになるものである。一階ではオーケストラの音が聞えて來やうし、其の次の床では音楽喜劇のスターが練習部屋からヒョッコリ出て來ることもあらう。ジャズの樂器を抱へ込んだ連中と階段で摺れ違ふこともあらう。遂には變手古な布張りの室に案内されて、マイククロフオンの前で聲の試験をやらされたり、一般の書齋とは非常に違つた部屋で、講演に關する打合せをしたりする。此所で受ける種々な注意は、講師に取つては有益なものではあるが、要するに、其の訪問は普通の講師にとつては珍奇な經驗をする事になる。

講師が打合せをする時には、先づ其の講演を前以て紙に書いて、十分、十五分、二十分と正確に時間を合さねばならぬ。連續講演の場合には、數週前に作成した講演概要と、嚴格に時間と合致するやうにせねばならぬ。又時間や條件(謝禮)を協定したり、又質問應答する場合などには、凡て事務的にやらねばならぬことを發見する。愈々第一回の講演をやる日が來る。そして待合室で坐つてゐる間に、高聲器から出る輕妙な音樂を耳にし、それから、其の晩の娛樂放送をば、彼自身の聲が止めさせる事になる。そして、幾百萬の聴衆は、自分の講演に舌打ちをするだらうと



想像をし始めると、如何にも自分の講演が不釣合で耳障りなものだなどと考へるに至るかも知れぬ。

放送に附隨して生ずる心理的困難は、更に講師に對して様々の問題を與へる。講師は眼に見えぬ聴衆に對して講演をするのであるが、其の數たるや、彼としては未だ經驗した事のない莫大なものであり、有ゆる年齢、有ゆる教育程度の男女と、有ゆる種類の趣味趣向を持つた人々を含んでゐる事を知る。然もその多數の聴衆を見る事が出来ぬのみならず、自分の講演の手答へを知る事も出来ない。聴衆が講演の反響として與へて呉れる獎勵の聲も、將た又足をがたつかせたり、折悪しくやる咳の如き或種の暗示もない。従つて、講師は講演の調子を變へて、聴衆を倦まさないやうにすることも出来ない。且つ、講師は一つ纏つた團體に向つて話して居るだけでなく、聴衆は彼等の家庭や俱樂部に打ち寛いて聽いて居る個人や、小さな團體をも相手にしてゐる事を忘れてはならぬ。故に面白くない長たらしい前置きなどして講演を始めたなら、そして若しも最初の三十秒間に聴取者の注意を捕へんとするならば、最後に於ていきなり話の急所に飛込んで行かなければならぬ事を知るを要する。

我々は、左の陳述を寄せられたドクトル・シリイル・バート氏に感謝する。氏自身も特に放送者として成功されてゐる方である。

『普通の教授法と無線に依る教授法とは、其の様子が大變に違つてゐる。故に、前者の經驗は必ずしも後者にとつて役に立つとは限らぬ。大學の教授でも、又普通の學校の教師にしる、往々一種の身振りや様子をする癖がある。此様な癖は、教室では生徒が咎立てしないが、ラジオの聴取者に對しては、往々障害に成る。演説の經驗や、聴衆の希望を容れる經驗等は、實際役に立つものだが、多數の一流教師は、自分の話を有難がつて聽く人々の目前にあることに依頼しすぎて、其の結果、一人ぼつちでスタジオの中に坐らされると、茫然とする。話を止めて、原稿を読み始める。能く此の不利に打ち勝ち得る人こそ、肉眼で見えぬ聴取者を、心眼で見通す教師と云へやう。例へば、放送教授最中のサー・ウォルフオールド・デイヴィスを見た人は、誰でも同氏がサヴォイ・ヒルに居る事を忘れて、實際遠隔地の教室で自分の話の相手である男女の學生とつき合せて教授して居るのでは無いかと思ふ程である。他の放送教師は、マイクロフォンの前に只一人で立つた時は、恰も教室に這入つて來て、學生一人も出席して居ない時の



やうな、一種の空気を感ずると云ふ。(此の経験は、B・B・Cのこじんまりしたスタジオでは感ずる度が少ないのだが)

教授上の経験以上に、私は相手たる聴取者と先づ知合になつておくことを奨め度い。然し、此の近附に成る事は、必ずしも職業的の慣習にする必要はない。又講師は、往々にして見える聴取者の刺戟に頼り過ぎたり、或は時々刻々彼等の表情に支配されるやうになるものである』

講師の困難は、此の記事に依て明かなるが如く、講師にして此の困難に打勝たんとせば、先づこの新状態及新可能性を把握し得る丈けの敏捷な想像力を有し、且つ講演の本質と自分の態度とを時と處と風とに適せしめねばならぬ。例へば、講師は修辭學的又は演説口調よりも、寧ろ個人的に話すことが出来ねばならぬ。そして、話を平易にしやうとして、動もすると、其の聴取者のレベルに迄下つて行くやうなことがあるけれども、さういふことのないやうに、又講演が餘り一般的になつて、曖昧、不精確な印象を與へぬ様に力めなければならぬ。講師の聲が、表情の唯一の媒介物であり、聴覚が聴取者の唯一の感覺である以上、適當なる聲を出す事は、頗る重大である。講師は力めて平易な言葉を使ひ、發音に注意し、聲調は放送に適するやう、それから單調

に流れぬやう、其の調子を變へ、又はこれを調節しなければならぬ。

放送講師の必要條件は、屢々議題として論ぜられ、且つ慎重なる考慮を拂はれた問題である。一般成人教育に適當なる人物として、普通に二つの誤想がある。即ち、大學等が其の延長事業の一部として、偉大なる大學教授とか、學界の有名な人物とかを選んで、種々の課程の講義をして貰ふならば、其の責任を果すことが充分に出来ると思つてゐること。又他面に於ては、此の種の教育は、社會的地位を離れて市井に在る先生や講師に擔當さしても、旨く行くといふ。明言は出来ぬが、さういふ事を確信出来さうにもある。それは、偉い學者で世間に評判のよい人も澤山あるが、中には、全く人氣に恵まれない人もある。従つて、其の聴衆との接觸に失敗することのあるのは、言を俟たぬ。今一つの極端な考は、比較的無教育な人々を教ゆるには、一種獨特且つ非常な資格及天賦の才を要求するといふことである。

一般成人教育につき眞なる事は、放送教育についても又等しく眞である。ラヂオ講師は、只成人教育家としての特種資格を持つて居る計りでなく、種々な天賦を持つて居なければ成らぬ。(尤も其の天賦は、何れが一番重大で、次が何であるといふやうに書き上げることは出来ぬが) 何が



一番重要であるかに關しては、人に依つて甚だしい意見の相違がある。兎に角、確實に云ひ得ることは、講師は良い聲を有たねばならぬといふこと、常に聴取者の興味を喚起するやうに心掛くべきことである。其の信用を益さしめることは、講師の名聲を高め評判をよくする上に必要なことには相違ないが、而かも講師が聴取者の興味を常に保たせておく爲めには、教授法もさることながら、放送に關する専門技術をも知らなければ成らぬことである。此の點に關して、吾々は、バト教授の左の意見を裏書するものである。

『上手な講師は、簡約の才と通俗化の才との二つの天稟を備へて居なければ成らぬ。即ち顯著なる諸事實を選出し、之を狭少な範圍に短縮し、然る後に之を簡明且つ了解し易き言葉に組立て堅苦しい講演に慣れない一般公衆の興味を直ちに惹き、且つ理解させるといふ力を持たねばならぬのである。講演放送に當つては、抽象的でなく具體的で簡明でなければ成らぬ。講師は自分の問題を縮めて蜆貝の中に入れるやうに力めるのでなく、單に食欲を起させるやうにするのである。即ち、喰べさせて腹をくちくさせるよりも、寧ろ喰つて見たいといふ氣を起させるやうにせねばならぬ。聴取者は、他に何も見るものとはないのであるから、講師は聴取者の頭

の裏に明瞭なる實景を想起させ、想像力を起させて、事物を視る力を啓發せしめる骨を有たねばならぬ。即ち一言で云へば、具體的でなければ成らぬ。ラジオに依つて好評を得るものは、書籍や、新聞や、公會堂に於て好評を得るものとは大いに違ふ。筆を執つては人を魅する小説家や論説家も、講演者としては全く倦怠を起さず人であるかも知れぬ。書けば堂々たる講話でも口で話すと氣障で技工的に聞えるかも知れぬ。讀めば人をそよるやうな頓智も、これを聞くと平凡な或は力のないものにならう。これは、恰度會話の時に愉快な諧謔でも、印刷されては下らぬ馬鹿氣たものに見えるのと同様である。

是等の考察は、私をして「ラジオ話術」なる語に廣義の解釋を與へしめ、且つこの技術を必要條件たらしめる。そして、其の技術中如何なる要素が最も重要なものかとの質問に對しては心理學者と雖も何れを先とも決め難いであらう。茲では、私は單に一二の重要點文けに止める。先づ第一に、放送者は講演してゐるのではあるが事實は讀んでゐるのだ。立派な講師は、自然に講演をしながら、臨機應變適當な語氣や句調を用ひて講演を活かして行くのが常だから始めから決つた物を讀むラジオ放送には、大いに困らせられる。他の反面に於ては、普通の講演



の場合、準備なしで講演をすると、行詰つたり口籠つたり、又は同じ事を繰返して比較的不成績の講師も澤山居るが、之等の人々に原稿を読ませると、句調も整ふ場合が多い。但し、講師の眼は、絶へず机上の原稿に注がれてゐて、聴衆に對しては一向注意をせぬから、聴衆も又講師から視線を反すので、講師は聴衆を掴へる事が出来ぬが、之に反してスタジオで放送する場合、原稿を前に置いて、流暢に且つ心服せしめ得る句調で話せるし、同時に又講師の視線が何處に行つて居ても、誰も頓着する人はない。結局普通講演と放送講演の差は、放送に於ては原稿を読みながらそれを如何にも向ふの聴衆に對して個人的に話してゐる様に聞かせ、同時に又讀んで行きながら、實際的思想を新しく活かして話す方法を考へ出す點にあると思はれる。従つて、放送講演の技術は、普通講演よりも遙かに習得し易き技術であると思ふ。』

放送講演の技術は、特別であるといふ事を一旦認めると、如何程教育に經驗ある人でも、又優秀な資格を持つた人でも、其の技術に對する助言や暗示を歓迎する事實を、B・B・Cに於ては認め得るのである。近頃倫敦から主要な講演とか課程とかを放送しやうとする場合には、候補者たる人に對して殆んど儀式的な準備行爲をなす。先づ、講師をマイクロフォンに對する聲音試験

に來てもらつて、其の音質の適否を確め、次に、講演の主題及び其の講述の方法に就いて協議をする。講述の速度、聲の高底、聲の調子、口調等に就いても注意をする。そして、講師へは注意書を渡す。そして、完成した原稿を携へて豫習に來ると、講師は其の原稿に對して、恰度ピアノストが其の樂譜に印を附けるやうに、こゝは一寸話を休む、力を入れる處、聲を變へる處と、夫々印をつけさせられる。

此等の講述の諸點について、バート教授は暗示的評論を試みてゐる。

『成句が續く場合其の間で休むことは、此等の成句を陳述する間の平均速度を持つることと同様必要である。成句中の一語を、往々聴取者が聞き落すことがある。故に、寧ろ句の間で幾分長いやすみをおく方がよい。その間に聴取者は自分の頭の内で、文章の前後の關係から斷片を綴り合せることが出来る。それとても餘り長きに失してはいけない。講堂でならば、聴衆は目の當り講師が居るのを見て、これは効果の爲めに休んでゐるのだな、又は新しいインスピレーションを集める爲に休んでゐるのだなといふ事が判るが、ラヂオの如く單に機械で受信する場合では、それが判らぬから餘り長きに失すると、講師もアウンサーも何處かへ行つて了つたの



ではないか等と、聴取者が頼りなく感ずる事もある。同じ理由で、餘り神経質になつて、ためらつたり二度も三度も同じことを繰返したり、どもつたりするやうなことがあると、講師が見えぬだけに極めて迷惑なものである。尙講師の身振や、睨みなどで意味を徹底させることは出来ぬ。従つて聴き心地のよい講演の第一要件は、辯舌の流暢にある。

講演の速度は、その主題、文章の形式に依つて勿論變つて行かなければ成らぬ。時としては、成句の獨特な形に依つても變ることさへある。芝居の役者や、普通の講師は、大向ふの様子を見てやつて行ける。即ち心理學者の所謂『反動時間』に注意することが出来るから、放送者よりも有利の地位にある譯である。自分の臺詞が觀客に届く迄、又は其の諧謔などを觀客が解つて笑つて呉れるまで、臺詞を句切つて待つて居れる。然るに放送では句切りが余り長過ぎた爲めに、聴取者が何か機械に故障でも起つたのでは無いか、と思はせる様な事が往々ある。又普通の講堂などでは、聞えない様な雑音でも、マイクロフォンには、講師の聲と同様に、鋭敏に感應されるので、講師が原稿をさばつかせる音でも、聴取者には氣になるものである。鼻で吸ふ息でも少し荒いと妨害になり、咳は聾になる程大きく聞え、句切の時の喘の如きも、びつくりする程大きく聞える。』

パート教授が取扱はなんだ、只一つのことがある。それは、多くの講演放送に重要で特に討論の基礎となるやうに計畫されたる講話に於て、緊要缺くべからざるものである。即ち、講師は聴取者を喚び起さんがために、彼等に挑まねばならぬことである。講師は、出来るだけ煽動的でなければならぬ。教育放送の講話として理想的のものは、知識注入主義の話よりも、却つて聴取者をして回想的たらしむるか、或は一つ議論をやつて見やうかと云ふやうな氣持を起させる講話である。

本章に陳述したことを基因として、將來の放送に必要な特殊技術が出現すべきである。處が、立會人諸氏の意見に依ると、B・B・Cの經驗を斷定するとなれば、講師の人柄が放送の成功の鍵であるといふのである。放送は講演者の人柄、又は其の欠陥を參酌なく明瞭に發く。一寸した癖でも氣障な點でも上品な態度でも愛嬌でも自惚でも、遠慮容赦なく誇大して見せるのである。そして、單に聲だけの媒介であるのに、其の人柄が同情に富んだ人だとか親しみのある人だとか云ふ事を、忠實に傳へるのである。尤も、諸種の事情状態のために、時には其の人柄が相手の聴取者に



徹底しないこともある。斯かる場合は、ラヂオ話術に注意することに依りて、救治することが出来る。B・B・Cは幸にも今迄人柄の立派な教授、技能の優れた數人の放送講師を發見してゐる。放送教育の可能性が、立會人の大多數に斯く活き／＼と理解せらるゝに至つたのは、主として彼等の御蔭であつた。尙ほ方法及技術上に於ける彼等自身の經驗に依つて、將來如何なる方面に發展すべきかを示したのも彼等講師達であつた。

更に、將來は講師の選擇、同情及想像の極めて重要なこと、必要な新方法を統御し得る能力等に就いて、十分注意を拂ふべきである。又必要な連續的講演の仕事に協力して行ふやう一層注意を拂ふべきだと信ずる。

## 第七章 當面の急務

前數章に於て、放送の可能性についての略述を試み、更に或種の困難を指示したが、本章に於ては、少しく實際的の指示を行つて、聽取者の利益を増加させ度いと思ふ。

主要な問題は、プログラムの時間問題である。B・B・Cの踏襲して居る政策、即ち聽取者の四分の三に「放送の四分の三を欣ばせるやうに聞かせる」と云ふことのみでなく、本章に述べる政策即ち各社會に屬する人々の特殊な希望をも満たすためには、如何にすればよいかと云ふ問題である。既に示されたる如く、斯かる要望に應ずる爲めには、一日の終り即ち夕方方の僅かの時間中に、差繰りをつけて放送することである。この時間以外は多くの聽取者にとつて都合が悪いのである。而もこの時間は、他の放送とちか合ふ時間なので困る。この解決を何うすればよいかと問題である。

正規の教育放送を行ふに最も好都合な方法といへば、全國を包括する特定の電波の全部若くは其の大部分を、教育放送用とすることである。そこでこの目的のためにダヴェントリーの局を残しておかうといふ議論が大分あつたのだが、現在の處、この政策を直に實施することが出来ぬといふ技術上の考慮の爲めに、沙汰やみとなつてゐる。ダヴェントリーの長波長局は、英國全島を包括する唯一の長波長で働いて居る、この唯一の長波長局だといふ理由で、レヂヨナル・スキームの下に於てすらも聽取不良の地域に對し、普通波長局の補助として必要なのである。將來この波長をさういふやうに使用して差支なくなるか、或は將來5××と同様な第二の波長が英國に割當たら



れるならば、教育放送の發達の上に、又多種多様な要求を満たす上に、此の上もなき好機會を與へられるものである。斯うなれば、教育放送に適するやうに首尾一貫して全体として計畫され、且つ教育放送の特性を有するプログラムを進めて行くことが出來やう。故に、波長割當に就いては随分意見を述べておいた、何うか實現させ度いものである。

以上の方法が不可能であるとすれば、一方に於て或る確定した時間を正式な成人教育に割當てること、又他方に於て正式な成人教育に比し一層範圍の廣い一般的な講演、朗讀などの爲めに大體の割當時間を保留せねばならぬ。後者の場合も亦、本研究の關與する處である。

先づ、學生の爲めの時間を論ずる。二重放送番組で出來る時になれば、一方の波長を用ひて(土曜日をも入れ)毎日少くとも一時間を提供しないでは、其の増加しつゝある要求を公平に満たす事は出來ない。又この一時間を成功させ、聴取者の希望に合致しやうとするには、七時三十分以前では駄目である。夕食を七時と八時との間に攝る聴取者からの是迄の不滿を考慮すると、如何なる計畫になる二重放送番組に於ても、一週是非二晩は、定期の講演を、七時三十分から八時三十分とせず、八時から九時の間にせねばならぬ。この時間の分割方法は、經驗上最も良好だ

と考へられる。手許に在る實證に依つても、又は吾々に對し申告された意見を考へて見ても、放送時間を之より少なくすることは、正當でないと思はれる。尙ほ、午後一時から二時頃の中食時に於ける短時間の放送を要求する聲が漸時高まりつゝある。聴取者の諸団体と必要な協力をするならば、二重放送番組の實現した暁には、この要求も入れらるべきであらう。午後の講話は、何うしても放送プログラム中に入れておかねばならぬ。そして、中には二十分三十分等に延長して有益なものもあらう。此種の講話は、單に工業地の交代勤務制度の下にある多數労働者に聞かせられるのみでなく、更に多數の婦人會並に俱樂部に對して、討論の材料を與へる事ができる。こゝにも聴取者は聴取者たるべき者の組織的団体と、密接なる協力をなすべき必要を認める。

次に、一般的講話、即ち文學、政治、時事、旅行談等の各般に渉るものは、之を具体的に示すことが困難である。何となれば之等は他の一般的プログラムと相並んで存在して居るのを常とするからである。然し、吾々は、此種の講話に一定時間を與へざる放送政策には首肯する事が出來ない。若し、適當にプログラムの平衡を支持し且第二章に於て指示した多數者の趣味を満足せしめんとするには、聴取者にプログラム選擇をなさせる時代の來る事である。然うなると、今日よりも此種



の講話や講演に提供する總時間が更に多くなることは明白である。これは、地方的に利害關係の深いレジオナル制プログラム中の講話に於て特にさうである。

一講演の所要時間延長の問題は、放送時間問題の他の一面である。一時間以上に渉る討論が評判のよいのと、それからダヴェントリー5×5局に於ける半時間講演實驗の價值が認められ居る處から見れば、十五分或は二十分間よりもつと長い講演を欣んで聴くやうである。例へば西部地方の一同業組合事務所の主任が、一九二七年秋季に於ける討論團の多數會合の成功を報じ、且つ云ふには「講演、講話の所要時間も亦緊要なる問題である。何人も半時間を長すぎると考ふるものはない。而かも、數人の者は曰く、二十分の話では態々出かけて来る價值がないと。……要するに所要時間を三十分に延長して、回數を少くする方が、二十分間で回數の多いのよりは優つて居る。」と。それから盲人聴取者の辯論小團體の代表者の通信に「自分の手紙の眞の要點は、短かい話よりも半時間講演の優れたることを強調するにある。それならば、集合に價值が出來て來、講師にも眞の機會を與へる事が出來る。吾々は少なくとも半時間で今よりも多くの講演を聞く事は出來ないであらうか。」と。さういふ譯で、話の所要時間並に話の回數を絶えず實驗す

る必要がある。即ち、聴取者との周到なる協力に依つて、其の効果を調査するのである。B・B・Cプログラム當事者は、斯の方面に於て最近大いに努力して居る。即ち、最良の結果を得んとすれば、聴取者の集会的或は個人的の同情ある協力を最も必要とするのである。

右と同様に重要なものは、放送話術の發達である。この技巧の主要事項に就ては、第六章に既に述べてある。兎に角これは大なる努力に依つてのみ修得し得らるべきものである。尙ほ放送局當該係員及講師の双方が更に實驗研究をなすべきことである。B・B・Cの經驗に依れば、練達せる講師でも進んでB・B・Cのスタジオへ「お稽古」に通ふ人が増加しつゝある。それから、周到なる準備とこの稽古とは、放送事項の内容並に話術を大いに改善することを示す。

尤も、放送局側に於ける當面の急務はと云へば、恐らく組織的活動に力を入れること、發利物や宣傳を盛んならしめることであらう。現に、未だ世間では教育放送のことも知らず、従つて其效力も知らない有様である。放送は公益である。其の目的とする處は、全体としての聴取者の興味を満たし、其の要求する處に應ずるに在る。個人たる聴取者は素よりのこと、更に諸種の機關や公共團體などに向つても、教育放送のことについて充分なる宣傳をせねばならぬ。現今の如き



開拓的時代に在つては、B・B・Cは受信困難を訴ふる者や、教育放送受信用セットの製作及保存のことについては、適當な注意を拂はねばならぬ。講演放送の最良利用法、放送討論會を組織する方法、及受信機の保存などについての短期講習を開いて、団体指導者、有志団体の會員、又技術方面に興味を持つ人達に特別の援助を與へるのもよい。

聴取者からの通信も一大問題である。夫れは、整理するのに甚だ困難であり、又澤山の郵便物から選り分けるのには、非常な勞力を要するものである。B・B・Cのプログラムに對する通信は莫大なものである。講演に關する通信には、自發的に來るもあり、時には講演者の希望に依つて送られるものもある。兩種共、單に些細な事柄について云つて來たり、又は聴取者自身の感情で氣に入つたとか氣に入らぬとかを知らせて來るのが相當數に達する。中には、書物の名を知らせてくれとか、或は自分が面白く感じた講演を更に研究するために、何等かの依頼をして來るやうなものもある。B・B・Cは、一つの質問受所だとの考を起させるのは誤つて居るが、然し、特定の講演や連續講座に關して、注意や援助を求めて來るのに對しては、出來得るだけ講演者や係の者が之を奨勵し、且つ回答を與へるやうにしたいものである。尙ほ、學生の作文をも取扱ふこ

とも好い。連續講座に對して自己の意見を作文にして見ることは、聴取者の興味を進め且つ利益の甚大なものがある。かういふサービスの設けることも、強ち不可能でないと思はれるし、實驗的にやつて見るなら、尙更差支ない事である。

印刷物發行に就いて留意すべき事は、講演や講座の豫告を早くすることである。其の發表が早ければ、既に半分以上成功である。そして、其豫告を數ヶ月前にするならば、其の放送講座は、多くの俱樂部とか諸協會などの會合順序書の中に編入されることにならう。其の配布を有效ならしめるには、一部は聴取者の協力に待たねばならぬ。これに就ては、後に述べることにする。郵便局、教育當事者、及他の公共團體が、之等プログラム又はポスターを衆人の眼につくやうに、諸官衙に於ては、普通の講演放送の編成について、既にB・B・Cと協力しつゝある。故に、勅許に依つて設立されたB・B・Cとのこの協力を、更に教育放送宣傳にも及ぼして、決して不合理ではないのである。

教育放送雜誌の可能性については、既に述べた。体裁のよい安價な週刊物にして、現在の「研



學の葉」を増補擴張したやうな物を作るなら、講演や音楽の放送に大なる便宜を興へる。斯様な補助的出版物について、成るべく至急に慎重な考慮を拂ふべきである。

この研究を進めて行くとして、教育放送の發達に對する放送局側の努力は勿論のことだが、完全な結果を得るためには、聴取者も亦一半の責を負はねばならぬことが判つて來た。聴取者は、豫め自分の聴かうとするものに對して充分の準備をする必要がある。さもないと、充分の効果を收めることが出来ぬ。最初定めておかずに、たゞ漫然と慰安又は享樂を求めんとして、劇場音楽會活動館、又は講堂に出かける人は稀である。尤も、準備がないと全然効果がないといふのではない、効果が薄いといふのである。元來、ラヂオのプログラムは、廣汎な興味を包括するから或る場合に或る部分が、聴取者の注意をひいて、幾分の利益をもたらすこともないではない。然し、前以て其のプログラムを研究し、繰合せをつけておくやうな眞面目な聴取者程の利益を得ることは出来ぬであらう。

講座の回数を重ねるにつれ、其の問題に眞に興味を有する聴取者は、講師から提供された問題について、自己の友人たちと互に論究し合つて見たくなり、又推薦せられた書物を讀んで見たくなり、又時には自分で論文をかいて、これを講師に送り其の批評を求むるやうになることは明かである。自分が興味を有する問題の放送講座のあるとき、二三の友人を自宅に招いて之を聴き、互にその中の問題を論ずるやうな聴取者も仲々多數に在る。斯くセツトの持主が、自分の友人や隣人でラヂオを取付ける資力のない人達に、親切な行爲をすることは、誠に結構なことである。この爐邊の集團の主たる特長は、かたくならぬこと家庭的なることであつて、こゝが最も價値のある處である。

集團の出來てゐる場合、其の指導者は、論議を指導して行くべき援助を希望するであらう。斯様なときは、主要な連續講演につきては「研學の葉」といふ小冊子を出してゐるから、之を利用するがよい。時には、指導者自身が前以て其の問題について少しく讀んでおき度いとか、論議をさせるに適當な問題を考へ出しておき度いとか、又は團員に論文を書かせる題材をこしらへておき度いとか云ふ場合もあらう。集團を作つて見やうとする人は、誰でも放送局の當事者へ其のことを云つて來れば「研學の葉」の小冊子を多數割引をしてもらへる方法もあり、集團を作る上の種々の注意を聞かせて貰ふ事が出來、講師へ論文や質問を提出する上の手續などを教へて貰へる。



そして、俱樂部、學會、青年會といふやうな既存団体で既に団体聴取の實驗をやつてゐる所と協力して行ふなら、更に有益な實驗が出来るのである。

団体が講演放送を利用するには一般に高聲器を取付ける必要がある。この目的に用ひられる受信機は、現在の處比較的高價であるが、これを求めるには、分割拂ひ又は二三団体が組合つて協同購入をする方法が得である。其の団体が受信機取付に適當な部屋を所有する場合は、取付の問題は簡單であるが、これがない場合には、學校や公共建物の管理者で受信機を所有するものが、其等団体の爲め夜間之を使用することを許していただき度いものである。

處が、斯様な集團は教育放送の健全なる發達に對して特殊の責任を負ふ全國的機關の支部である場合が多い。放送を適宜に利用することに依り以上の機關の事業を進める上に、非常な力となり得ることは、普く識者の認むる處である。放送は、他の方法に依りては、到底企及し能はぬやうな新局面を展開し得る。尤も、其の成功を收むると否とは周到なる計畫、甚大なる努力、及び協力に依るものである。教育事業に携はる總ての機關が、其の會員又は學生に向つて、講演放送プログラムに對する小冊子を頒布して、放送聴取をして定規の日程とする時代は間もなく必ず來る筈

である。何うか斯様な機關を持つ地方及中央委員が、教育放送のことを眞面目に考究して、實驗的課程に對して具体案を放送當事者に提出せらるゝことを望む次第である。そして、之等の提案の實現せらるゝ曉には、其の當面の責任を負ふ機關は、自己の責任として、其の會員に與へられたる機會を充分に善用せしめるやう、全力を盡さぬばならぬ。更に適當なる指導者を有する集團の組織をなすこと、それから放送局當事者へ成るべく詳細に其の實驗の結果を報告することに努めねばならぬ。或る放送課程が終了すると、個人或は集團が自分達の興味を持つた題目を、更に研究して見度いと思ふのは自然のことである。彼等は、自身で講師又は教師を備つて、其の學習を開始せんとするかも知れぬ。そして、一週に何回と日を定めて集合することになるであらう。さうなると、斯様な利益を提供して呉れる団体と接觸することを欲するであらう。そして、斯ういふ御用を務める機關も必要になつて來ることであらう。このことは、次章に於て述べることとする。

以上のやうな特殊の討論団体の外に、他の目的を以て集合したる集團や學生などに、講演放送を利用せしむべき途もある。例へば、夜學校に於ける實驗では、朝夕二時間の外國語課業の中にラヂオの語學放送（二十分間）を聴取させて、好成绩を収めて居るのがある。ラヂオの講演も、



教室に於て教えられる。講義に變化と對照とを與ふことに利用せられて居る。これは、特に多數の成人教育の教室に於て利用せられてゐる。其の學生が相當に長い期間、指導者としてたゞ一人の教師を持つ場合、特にさうである。爐邊の辯論集團のことについては、相當詳細を盡した筈である。何となれば、辯論は最も興味あるものゝ一つであると共に、或る題目を研究するに最も有益な助けとなるものであるからである。其の上、一週間に一度他の友人たちと會合することは、連續講座を規則的に聴取することを容易ならしむる。然し、會合をしないと、同様の利益が得られないといふことではない。特に聴取者が推薦せられた書物を讀んで研究する場合、更に結構である。又辨論の爲め、他の聴取者と後に會合する事も出来る譯である。

偕て、斯く論じて來たものゝ結局、其の進歩發達は、要望の性質と範圍とに依らねばならず且つ意志表示の性質と範圍とに依らねばならぬ。其の表示は、或は諸機關に依り、通信に依り、會合などの決議に依り、或は中央又は地方新聞の欄に依る。

## 第八章 將來の組織

前章に略述した事業が、都合よく運んで行くならば、それは、取も直さず從來未だ曾て企てられなかつた、廣汎な範圍に亘る國民教育の實驗である。斯く云ふと、如何にも誇張せられたやうに聞えるかも知れぬが、放送が遠距離に到達する可能性や、今日の最良の教師思想家をして聴取者に接觸せしめ得る可能性等のことを考へると、決して誇張ではない。然らば、一般の成人教育運動に、此の新進勢力を結合せしむる方法如何。如何にすれば、放送をして諸教育機關に對し、最も役立たしめ得るか、又其の補助とならしめ得るか。

今日まで、B・B・Cは、進んで教育事業に努力し來たのみでなく、殆んど獨力で補助教育機關としての活動に精進して來た。これが、今日教育放送の基礎をなしたのである。吾人を以てすれば、全國の教育機關が、今やこの事業に對する責任を分担すべき時機が來たと思ふ。又教育の監督者、教師、學生團體等、苟も教育に關係ある者は、進んでこの仕事に参加せねばならぬ時期となつたと信ずる。

若し、講演や講座を、各社會部門に屬する多數聴取者の要望に依據して編成しやうとするには各部門の人々と密接な接觸を保たねばならぬ。然るに、英蘭、蘇蘭、ウエールス、及び北部愛蘭



に散在する是等の眼に視る能はざる聴取者數を、測定することは容易なことでない。それだと云つて各部門機關の本部との接觸だけでは充分と云はれぬ。數千の書信と雖も、或は新聞社の募集に依る希望投票と雖も、或は熱心な新聞記者の探索と雖も、未だ充分でない。全地域を包括する協力機關を缺くに於ては、輿論の要求趨勢等を察することが出来ぬ。即ち、聴取者の眞の希望に即することが出来ぬ。一方大抵何んな男でも女でも何等かの團體の一員になつて居ないものはない。例へば、社交的、宗教的、教育的、或は職業的團體の一員といふやうに。故に、全國的並に地方的の大きな諸團體と提携をすれば、恐らくこの密接なる關係が、最も能く保たれることが出来やう。

(註)「第二章の脚註「無線大學」の計畫の項に提案せる個人投票制度よりも、此の方法の方が、公衆の意見の存する處を確實につかむことが出来ると信ずるものである。B・B・Cの行つた葉書投票は、余り感心出来なかつた。」

密接な接觸を保つべき機關として、餘りに御膳立の込入つたものは、我が國では好評でない。それに、放送の如く極めて新らしい機關の性質や可能性は、常に變化して止まぬといつてもよい。

そして、出来るだけ充分に且つ自由に發展して行かうといふのを少しでも妨げる懼れのあるやうな、動きのとれぬ制度を設定するが如きは誤りであらう。統一した制度は、我が國の放送事業を成功せしめ、且つ迅速なる發達を遂げさせた一理由である。けれども、成人が自己の爲めに教育を求めるとき、其の教育の形式、授業の方法について、自己の希望に對し發言權を欲することは、當然のことである。成人教育運動の傳統は、民衆的なものであつた。そして、地方的の趣味や個人意志の發動を自由に働かせ得る状態の下に發達し來つたものであつた。この特性が放送に役立つことは、恰度放送が成人教育運動に役立つやうなものである。

故に、B・B・Cは、抑もの當初から、全國教育放送諮問委員會や、各放送所々在地に於ける諮問委員會の助力を仰いで居た。そして、此等の委員會の貢獻は、實に大なるものがあつた。然し、此等の委員も認める如く、これ等は、一年一回又は一年四回の會合に於て、一般的な助言や提案をするだけの事である。以下、放送事業と成人教育の相互的利益のために協力機關を得べき手段方法を提起して見やう。これは、事業の發展につれ漸次採用さるべき性質のものとして信じてゐる。この機關成立の曉には、現在の諮問委員會制度に代る筈である。



一寸考へると、送信側と受信側との間に明かな區別領域が定まつてゐて、送信側であるB・B・Cは、講演、討論、演劇、及音楽等の放送を行つてをればそれでよく、今一つ別個の團體が、聴取側に於ける仕事に懸命の努力をしてゐればそれでよいやうに見えるが、斯様な方法は、實際にやつて見ると、想像を裏切る。放送局以外の團體が、放送の全能力の發揮を望み、且つ其の活用に間然する處なきを希望するならば、今一層組織的課程の計畫に關與し、親しく送信側に於ける諸問題をも觀察し、放送の實際についてB・B・Cの經驗を採用することなどが必要であらう。B・B・C教育部が、新發展に適應して、新鮮味を維持して行かうとか、最も廣汎なる範圍に渡つて新規な放送講師を物色するとすれば、勢ひ聴取者側の研究が必要である。この事業の二方面は、相互不離の關係を持つ譯である。

さういふ譯だから、吾々は、第一に成人教育中央協議會の組織を提議する。其の構成は、文部省に於ける成人教育委員會のやうにし度い。この協議會は、先づ第一に成人教育に關聯する有力なる諸團體の選出にかゝる代表者、第二には、後に記述するやうな、英國内各地域からの代表者に依つて成立せねばならぬ。猶ほ、其の何割かに相當する指名會員の内には、放送の經驗を有し、音

樂及ドラマの如き特種の題目、及び地方的逼迫のやうな特殊な利害問題、國際關係、工業就業員の救濟策等について、權威ある談話を爲し得る資格者を入れる。定例の會合は、會の方針通りに決定されることにする。

この協議會の擔當は、先づB・B・Cの適當な責任者の助力を得て、正規の成人教育のために割當てられた時間に對してのプログラム編成をなすことである。この場合、放送に關する必須條件に服従すること、(即ち勅許の條項、主題に對する制限、版權の問題等) この協議會に對し、B・B・Cの係員が其の經驗を以て充分の援助をなすべきは勿論である。放送事項に對する究極の責任は法律上B・B・Cにある筈である。協議會は、更に時々B・B・Cの放送プログラム責任者に、一般プログラムに就いての推薦をしたりなどして、最も廣義に於ける教育に關する特種の問題についての注意を與へるのもよい。

更に、協議會は、教育上の印刷物の計畫並に配布の義務を持つことにする。其の内には、計畫中の教育雑誌をも含む。そしてB・B・Cの出版部と必ず打合せして、具合よく運ぶやうにし度い。

B・B・Cは、漸次協議會に對して、其の地方協議會の手を経て、聴取團體の組織、指導者の養



成、並に受信上の困難などに對する注意を與ふることの責任を委ねることになるであらう。  
協議會は、此の特殊サーヴィスを進捗せしめるために要する、各種の任務を遂行するに必要な  
べき職員を選定を、B・B・Cに推薦することにする。

B・B・Cは、協議會と相談の上、正式に協議會へ之が爲めに支出し得る豫算額を通知すること  
とならう。尙ほ、各協議會へはB・B・C丈けからでなく、他からも資金を受理する権限を持たせ  
度いものである。この協議會に代表を送ることを要する利害關係者數は、何うしても多いことゝ  
思はれる。協議會が全體として定期に會合すべきは勿論、有効に職責を果す爲めには、諸種の仕  
事を處理すべき夫々の分科委員會を設けることがよい。例へば、聴取者の特定階級の利害を攻究  
する分科委員會の如きものである。總ての分科委員會は、特定團體又は問題に特別なる経験を有  
する者を以て、更に其の分科委員として互選する権限を持たねばならぬ。

(註)「學校相手の放送は、茲に述べる限りではないが、成人教育に於ける中央協議會の地位職  
能の同等なる、學校のための一中央協議會を設けることも望ましき事かも知れぬ。吾々は、其  
の組織に就いて兎や角云ふことは出来ぬけれども、其の委員には文部省から代表者一人、地方

教育當局からの代表者、並に學校相手の放送に於ての特殊の資格及經驗ある相當數の指名委員  
を包括せしめねばならぬと信ずる。放送側と受信側との密接なる協力の必要なることは、ケン  
ト地方教育當局とカーネギー英國財團との協力で、最近セント地方に行つた實驗に依つて明示  
せられてゐる。」

然し、倫敦に於ける中央協議會の會合で、詳細に亘つて一つの制度を制定するとして、それが  
英國全體の聴取者に關するのだとすると、これは當を得たるものでないのは明かである。其の制  
定が全體を代表し、且つ有效なるがためには、其の基礎としてもつと廣いものを求めねばならぬ。  
B・B・Cのレジオナル・プランに依つて分割せらるべき所謂レジョン(地域)は、現在の行政單  
位の何れにも該當せぬ。そして、如何なる場合にも、夫等が右の基礎としては廣大に過ぎる。種  
々の研究の結果、英國を諸大學の教育普及受持區域として大別した其の地方別によるものが、先づ  
最良のやうである。此等既存の教育地域に立脚した少なくとも十四の地方協議會が、中央協議會  
の手に依つて漸次出來上るといふ譯になる。各地方協議會から、一人の代表者が中央協議會に出  
て來ることになる。



現在の状態に於て、是等地方協議會の精細なる構造を定めることは望ましくないが、吾人は中央協議會に於けると一般、選舉に依る委員の外に、相當數の指名に依る委員も出来ることと信ずる。今日吾が國には、各種の團體が存在してゐる。その内には、全然地方的なものもあるので、成人教育の興趣も各區域に依つて區區である。或る地方では、有益な實驗が迅速に行はれ、官公的又は有志の團體の興趣も喚起されやうが、他の地方ではその手答へが緩慢である場合もある。然し、中央協議會は、成るべく近き將來に於て、必要なる地方的機關を制定せねばならぬ。

レジオナル制に依ると、少數の大放送所が現在の多數の小放送所にとつて替るから、レジョン即ち各區域の打合せ會が必要となる。この打合せ會へは、各レジョン内の各種の地方協議會からの代表や、B・B・Cのレジョン關係の役員も出席するやうにならう。

斯様な打合せ會は、當該レジョンのプログラムの内、教育的又は半教育的の事項に關して注意をなし、且つ各レジョンに於て受信側組織問題を論ずることにならう。

提案の機構に従ひ、聽取者に對し援助をなすこと、且つ附加的の事業を放送側で始めることにすれば、本部と各地方とに直ちに増員の必要を生じて來る。即ち、聽取者との接觸を計るべき職

員、打合せ會に出席し、技術上の實驗説明を準備すべき職員を要すると共に、作文並に通信文を擔當したり、聽取側に於ける講演効果を調査したり、更に事業の進展につれプログラムの充實を計るべき教育方面の職員を必要とする。

是等協議會の設立前と雖も、不斷の研究や實驗の必要がある。就ては、暫定の委員會を作つておき、新機關の設立につき、B・B・Cに援助させることにする。この委員會は、B・B・Cに中央協議會の構成並に召集につき注意を與へ、且つ必要に應じて、成人教育問題につき推薦をなすことを目的とする。尙ほ、發刊物に關する推薦をもしてもらふことにする。

完全にレジオナル・スキームが設定せられ、二重放送が英國内の全人口を收容し得るとき、最も廣義に於ける教育のための無比の機會を以てサーヴィスをなすことが出来るであらう。教育放送の健全なる發達は、多大の尊敬と信用とを有する吾が國一流の人々が、之がため彼等の寄與に吝かならざる場合に於てのみ可能である。遙か將來のことを目睹しやうとするのは本研究の仕事ではないが、今は僅かに初期にあるこのサーヴィスが、聽ては成長發達して、B・B・Cが更に之を擴張することを望み、且つその必要を認める程度になる時代が來るのは不可能ではない。現状



を視て以て、この發達は、如何なる形式をたどるべきかと云ふことは困難だが、恐らくB・B・Cの發意に依つて、全國教育放送院といふやうなものが出来、其の委員は、全國民の尊敬を博する人々であり、其の任務は、教育放送サービス全体の方策及資料を進展せしめ、この事業を國民生活の恒久的事業として確立せしめることであらう。

### 第九章 經費問題

若し、前章に論じたサービスを實施するとすれば、經費問題を慎重に攻究せねばならぬ。更に、留意すべきは、此種の施設に對する要望が増加しつゝあること、現在の聴取者の相當多數者が教育放送の改善を希望することである。

故に、此種の施設をなすことは、單に健全なる政策であるのみならず、義務としてもその要求に應じなければならぬことである。

最も廣義に於ける教育(この教育といふ言葉の中には、學校に對するサービス全部、一般講演及び特殊成人教育施設をも含む。)といふものに現在支出する割合は、總支出の約五分七厘である。

第二章の聴取者の分類で明白なるやうに、此の五分七厘といふ割合は決して大きくない。而かも教育放送要望の實際の程度に就ては、何人も答へることが出来ぬ。尤も、統計數字の擧げられる前期間に、例の徹底式小冊子を利用しやうといふ迄に興味を持つた聴取者が、二十五萬に達した。この事實は、教育放送希望者全体を知るべき一種の手蔓となる。何といても現在の支出高は、小額である。若し、聴取者側に於ける諸施設の組織問題を解決した暁には、支出高を増加すべきは勿論である。

一九二七年一月一日、郵政廳々官と新設英國放送協會との間に、一種の契約が締結された。其の契約に依ると、B・B・Cは向後十年間或る一定の制限内に於て、放送事業を管理すべき許可を得たのである。この契約中經費上の規定に於て、郵政廳々官は、特許料として受理する全額の一分二分五厘を徴収費及監督費として要求してゐる。而も、この以前に即ち前述の一分二分五厘を控除したる残額に對しても、次の標準に依り、或種の賦課をしてゐる。即ち、聴取者數、壹百萬以下は一分、二百萬以下は二分、三百萬以下は三分、三百萬以上は四分の控除をしてゐる。

そこで、茲に甚だ奇妙な且つ不合理なことが出来る。即ち、收容すべき人數が増加するにつれ



斯の如く、國庫に保留せられる金額は、單に徴收及監督費となるべき一割二歩五厘（これとも歩合が高過ぎるやうである。）の以外に、尙ほ國庫保留となるべき相當高額が特許料から控除せられるのである。放送には、更に一層純粹な慰安を看過する考は毛頭ない。この種の要求も、然るべく考慮せねばならぬ。然し、今は特に國民全体として、一般修養及教育價值のある事業にのみ關してゐるのである。教育放送の重要な點より視るときは、聴取特許料より徴收費並に監督費を控除したる純益金は、當然教育放送の擴張並に改善に充當すべきものと考へる。

放送を、單なる娯樂と考へるならば、各純益金の一部を、娯樂税と見做して徴收するものとも見られぬことはないが、萬一、さうだとすると、他の娯樂に比して税率が高過ぎる。これは、不

一、B・B・Cに支拂はるべき金額 (前年三月の數に依る)	八二四、三四〇	八九六、八七五	一、〇五〇、〇〇〇	一、一八一、二五〇
一、郵政廳保留の割二分五厘	一五六、二五〇	一八七、五〇〇	二二八、七五〇	二五〇、〇〇〇
一、國庫保留の金額	二六九、四一〇	四一五、六二五	四八一、二五〇	五六八、七五〇

年 月 日	一九二八・三・三一	一九二九・三・三一	一九三〇・三・三一	一九三一・三・三一
一、聽取者數	二、五〇〇、〇〇〇 (概算)	三、〇〇〇、〇〇〇 (假定)	三、五〇〇、〇〇〇 (假定)	四、〇〇〇、〇〇〇 (假定)
一、徴收金額	一、二五〇、〇〇〇 磅	一、五〇〇、〇〇〇 磅	一、七五七、〇〇〇 磅	二、〇〇〇、〇〇〇 磅

且つプログラムに對する要求が漸次複雑になるに拘らず、受取るべき収入は、其の割合を以て増加しないことになる。B・B・Cの自然に増加して行く収入に、右の如き累進的な控除をなすことの郵便廳の釋明理由としては、完全な放送事業を行ふための施設費は、一定額であるといふ假定は過つてゐると云つて、極力説明してゐる。

現在の規定に依ると、聴取許可によりて徴收する金額、即ち、B・B・C取得及び郵政廳及國庫保留金は、左表の通になる。

A欄は、一九二八年三月三十一日現在の概算數、B・C及びD欄は、聴取者數増加に従ひ、本規定に依る結果を示すものである。



るを便とす云々。』

各地方の教育當事者が、聴取側に於て價值ある援助を行ふべきことが多々あると思はれる。このことは、既に或る地方の教育當事者に依り、對學校放送に對して援助を行はれてゐることである。例へば、グラスゴー市では、工業學校に於て受信機を製作すること、リーズ市では市吏員をして受信機の使用法保存法等について適當な注意を與へさせてゐることの如きである。六ヶ所の教育當事者は、學校が受信機を作る場合には、少額ではあるが補助金を與へてゐるさうである。倫敦もストーク市もさうであるが、多數の都市では、學校の受信機設置の爲特許料金を負擔してゐる。リンカーン教育委員會は、同委員の手を経て受信機を要求すべきことを學校に向つて説いてゐる。ワイト郡の當事者は、その御用商人と特約して、學校用セット納入に特別割引をなすことになされた。セント教育委員會は、一ラジオ商店と特約して學校を援助することにしてゐる。右のラジオ商店は、B・B・Cの教育放送用受信機規格に依る受信機を、相當代價を以て製作納入すべきことを約してゐるのである。斯くて、處々の教育當事者は、經費上の援助を與へてゐるが、斯の如くに他の地方に於ても此の例に倣つて欲しいものである。

合理である。たとひ、此の高率課税の理由が立つたにしても、何んな場合があつても、之れが爲めに保留せられる割合に制限を加ふべく、且つ収入増加に對する遞増率を廢止せしめねばならぬ。若し、二重放送が健全なる發達を遂げ、是に必要な増補的施設を行ふときは、B・B・Cの豫算に相當の膨脹を來すべきは當然のことである。現に特殊教育上の實驗、組織上の増補、職員を増員、並に受信に關聯するサーヴィスに對して、支出増額の必要がある。受信に關聯するサーヴィスには、相談係技師の仕事のやうなものを包括する。之等國民的サーヴィスを増加すべしといふ要求は、現在國庫に保留せられてある特許料金の解放に依つてのみ應じ得べきものである。この論議を支持する爲めに、左にクロフォード委員會の判決を摘録することにする。(今日のB・B・Cの組織は、本委員會の推舉に基けるものである。)

『右につき(特許料金徴收費並に放送事業に關し、郵政廳の蒙るべき總ての支出につき郵政廳に補償すること)委員に特許料金より充分なる金額を支出し、委員をして放送事業の完全且つ有效なる維持及發達を確保せしむる事は、郵政廳々官の義務なりとす。是等の條件の下に、適當なる施設の完結を見たる後は(然らざるときは此の限にあらす)當該剩餘金を國家に於て保留す



B・B・Cが教育放送をなすことに就き、補助金下附申請書を文部省に提出すべしとの説もある。不正式な教育放送に要する経費の大部分は現に國庫に保留せる特許料残額を以つて支辨すべきであるが、文部當局の承認を受け得らるべき正式な教育放送に對しては、文部省が何等かの方法に依り、経費支辨の承認をなすことを正當とするを信する次第である。

教育放送事業の健全なる發達に必要なと考へる経費問題について論じて來た。その創始時代に於ては、教育放送の發達を計る爲めには、特定地域に於て且つ特殊目的の爲めに實驗を重ねべき必要がある。就ては、教育團若くは教育に利害關係ある個人が、この種の實驗を援助されることを希望する。

本書中に、教育放送を利用せんとするものに對して、補助的のサービスを提供しつゝあることを述べた。現在B・B・Cでは、パンフレット供給の代償として、是等の團體又は個人より僅少な代金を受けてゐるが、尙ほ作文添削の如き個人的援助に對しても、幾分の添削料を取り度いと述べてある。吾々は、斯くの如き方法は、料金が少額であつて、比較的資金に乏しい聴取者でも別に苦痛を感じない程度なれば、決して差支ないと思つてゐる。

結局、正義論から云つても、便宜論から述べても、國家が聴取特許料の斯く大部分を保留しておくことは、健全なる政策でない。そして、此の保留金は、社會に對するその價值が漸く充分に實現せられんとしつゝある一つのサービス（教育放送）の發達の爲めに、適當に支出せらるべきものと確信する。故に、現行の経費問題規定の有効限度が、一九二八年の終に來るのであるから、この機會に本研究及びクロフォード委員會の推舉を考慮して改善せられんことを望むものである。

## 第十章 結 論

善かれ悪しかれ、兎に角、放送は文明の發展に對して、計り知るべからざる影響を與へるものである。ラヂオが珍らしくない時が來れば、世人の興味もなくなると云ふ豫言は、重にラヂオの價值を單に軽い娛樂機關であるとの推定に基くものであつて、此の見解は、ラヂオの偉大なる可能性即ち一般文化の水準線の向上、報道及ニュースの傳播、遠隔地域の居住者への到達、プログラムの國際間並に帝國內交換を保證することなどを無視せるものである。約言すれば、放送は、



今や迅速なる勢を以て、國民生活及び國際生活に對して、緊要なる地歩を占めんとしつゝある。そして、更に他の新發明に依つて其の地歩を奪はれぬ限り之は將に現世界に於ける最も偉大なる一勢力とならんとしつゝある。

放送に伴ふ危険は顯著である。最高標準を維持せざれば、其の普遍的勢力は却つて滅却する。公平無私の態度を守るにあらざれば、放送は單に黨人の宣傳機關と化するに至るであらう。不斷の實驗と計畫と著想と觀察とを缺いたならば、公衆の思想及趣味をして恐しく低下せしむるであらう。聽取者をして、單に受動的態度に満足せしめず、進んで活躍せしめるやう常に奨勵するにあらずんば、放送の結果は、いたづらに個人の思想と創造力とを減退せしめ、遂には其の批判能力をも鈍らせる事に成らう。

然し、放送事業の將來に對して、吾々は樂觀者である。而かも、其の樂觀に對して、相當の理由を持つて居る。放送の有する偉大なる機會は、自然の勢として茲に偉大なる反響を喚起すべきことは吾人の確信する處である。幸にも、藝術、音樂、教育、指導の任務等に於て、最高の天稟を持つ男女の人々が、放送者として、或は管理者として、或は聰明なる聽取者として、或は同情あ

る批評家として、各自の分担を盡してさへ呉れるなら、國民は本來の有する寶庫から充分の利益を收め得るのである。

左に掲ぐる梗概は、本書の前各章の結論を包括するもので、以下十五事項は、悉く現在の状態に於て、實行の出来るものであると同時に、可能性多きものとして、一般に承認されてゐるのである。

#### 放送の職能

一、慰安と娛樂との設備は、從來も現在も放送職能の一大事項であつて、本報告の署名人等は此の職能の擴充發達を確信するものである。

二、然し、慰安放送と教育放送との間に、劃然たる區別を設けることは出来ぬ。多數の聽取者にとつては、慰安とは單に最近の音樂人の喜劇又は寄席的娛樂を意味するかもしれぬが、或種の人々にとつては、昨今の最良な音樂を意味するかも知れぬ。又他の人々にとつては、一層廣く世間との接觸を意味するのかも知れぬ。大部分の聽取者は、慰安は更に現代思潮及事件と接觸せしめてくれる一般講演、討論及朗讀を含ませて居る。此の點が、事實上成人教育の最も重要な本體である。

#### 特殊要求に對する設備



三、放送が今一層特定の成人教育の爲めにも便宜を提供すべしといふ要求が、漸次高唱されて来た。右の成人教育を放送時間に編入せよとの聲が高くなつてゐる現状もさることながら、純理的に云つて、放送は畢竟公益事業であるといふ事實は、之を國民教育のために運用すべしといふ事を裏書するものである。

四、最も廣義なる一般教育事業の發達を効果あらしむる爲には、聴衆及彼等の代表する諸種の趣味についての精細なる調査を必要とする。一般に信じられて居る以上に、多くの聴取者が、特殊事項に對して奇妙にも興味を持つて居る。一般的番組の他に、特殊の興味を主眼とする講演放送が社會の大部分に歡迎せられてゐるのを實驗する。社會の大部分とは、例へば農業家、通勤人、主婦、妙齡の男女及學生などである。

## 二重放送

五、以上の施設は、二重放送制が充分に布かれた上でないと、都合よく行はれぬ。二重放送制に依れば、聴取者の殆んど全部が自分の選擇に依つて放送を聞く事が出する。此の二重放送制はレヂヨナル・スキームの完成を待つて、始めて實用期に入るものであるから、この制度の實現が一

日も早からんことは重要なことである。

## 成人教育上に於ける放送の地位

六、成人教育運動は、誠に活躍を極めて居るが、未だ全人口の一小部にしか及んで居ない。放送は此の運動のために提供せられ得る最新の媒体であるから、之に依つて、從來經驗し來た數多の缺陷を補填する事が出来る。先づ如何なる所でも届く其の力、それから、社會の大衆を喚起する力を以て、教育の及ぼすべき地域を延長することが出来る。放送は他の方法を以てしては到底達することのできない人々の爲めに、教育の途を拓く。放送は、聴取者をして一世の大思想家や各種の問題に對する權威者と接觸させる。放送は、更に正式な或は更に深刻な研究へと導いて行く。放送は、他の教育施設を排除するが如き危険はない。况や、教育諸團體が、放送に依る成人教育の發達に對して、各自の分担を十分に盡すならば、申分ないのである。

## 討論團體

七、心と心との接觸は、教育の核心である。討論團體(其の組織的になると然らざるとを問はず)は、放送講演に依つて、討論團體自體の價値を増大する。斯の如き團體の指導者は討論を喚起させ



たり、問題を作つたりする上に、仲々の大役を持つ故に、斯の如き団体を組織するやう、有ゆる奨励をなし、且つ出来得る丈の援助を與へたいものである。學校其の他の教育機關で、自己の設備や餘裕を持つてゐる處では、便宜上ラヂオを団体聴取の爲めに利用させ、又受信機の購入及設置に要する基金募集に努めて戴き度い。二三の団体が協同して受信機を購入する方法も、地方に依つては甚だ便宜である。

#### 補助的活動

八、教育上の見地から云ふと、聴取者側に於ける各自の努力は、甚だ緊要なる一要素である。B・B・Cの採れる徹底主義(Follow up policy)は、次の三大方面に發展することを必要とする。

い、發刊物の増加(週間繪入教育雜誌を含む)。之は放送教育担任者に依つて企畫され、指導せらるべきである。

ろ、周知方法の擴張。講演其他の事項の通知は、成るべく早く且つ充分餘裕を見て發表し他の教育団体などのプログラム中に利用させることが出来るやうにすること。

は、組織的運動の擴張。徹底主義をして徹底した仕事をせしめるには、單に通信に對する回答

で満足してはいけない。専門的難點、朗讀、個人研究、ラヂオ討論団体を組織する方法、更に深く研究せんとする者の爲めの指導、などに對する助言をもなさねばならぬ。

#### 受信上の諸問題

九、受信の諸問題を満足に解決することは、極めて必要なことである。受信上の一般標準を高めること。受信機の使用及維持を正當にすること等に依つてのみ、放送に依る全利益が擧げられる。これが爲めに、教育放送用受信機の担当者、B・B・Cの技師が訪問して、一々適切なる注意を與へるといふ一つのサービスを必要ならしめる。尙ほB・B・Cの教育用受信機規格に依つて、適當な受信機の作り方も教へることは、極めて必要である。

#### 教育放送の種目

一〇、放送番組は、取材と表現とに關し、最も自由な立場で實驗する必要がある。新知識や趨勢を巧に表現することは、ラヂオの一重要職能であるが、他の反面に於て、教育放送を、一般社會の常套的な趣味と、密接に關聯させる事も緊要である。放送といふ特殊の媒体に最も適應する種目に對して、放送の面目を發揮すべきである。



一一、論争的種目を排除することは、個人として又市民として、更に男子にも女子にも最も興趣をそよる最も重要な事項を排除することになる。是等の種目につき、マイクロフォンの前に立つて話をする人々の選擇に、最も周到なる注意を要するが、若し斯く選ばれた人々が、適當な責任觀念を有する場合には、成るべく自由な取扱ひをすべきである。多數の論争的種目を取扱ふには、教育的見地からするのが一番宜しい。即ち、相衝突する思想上の各派の主張を公平に述べさせる事である。又權威ある政黨の辯士等は、互に議論させたり、討論させたりすることも、有益且つ効果のあることである。

#### 放送の技巧

一二、放送をして効果あらしめる爲には、不斷の實驗を必要とする。高尚なる人格者が、自己の個性を、眼に見えざる聴衆に傳達させる能力は、放送術中の最高の重要事項である。尤も經驗に經驗を積んで、放送に一番適當な特殊教授術を充分に發達せしめることに依つて、最良の効果が得られる事は、勿論のことである。

#### 時間の設定

一三、本式に教育放送を施行するに就いて、最も完全なる方法は、全國共通の一つの電波長を専用充當せしめることである。そして、この電波長に依つて、講演、音楽等の特殊放送をするのである。この方法の行へない場合は、仕方がないから、一般プログラム中の一定時間を割いて、一般的講演となし、又一日中の適當なる時間を特に秩序的な教育に提供する他はない。電波を二種以上使用し得る放送制度の下に於ては、秩序的特殊放送を、少くとも毎日一時間午後七時三十分後に行ふ必要がある。勿論其他の時間にも講演、講話を入れる次第である。吾々は放送時間の何處かに講演を加へない番組偏成を蔑視するものである。尙ほ、教育放送の再組織又は發達の爲めの如何なる計畫にも、地方的な教育講演に幾分の時間を割當てる事は頗る必要な事と信ずる。

#### 教育諸機關との協力

一四、前述の政策を實施するためには、全國の教育團體を招いて、事業責任の一半を負はしむべきである。適當な協力機關がなくては、各種階級の聴取者の教育上の要求を知る事が出来ない。従つて、彼等の要求を満たすべき施設をなすことが、不可能となる。吾々の意見では、これが爲めには、中央協議會を設け、有力な教育團體からの代表者、教育放送番組偏成に當れる人々、聴



取者側の意志を代表する人々、等に依つて組織する必要が起る。尙ほ、諸大學の教育普及事業上の地域分割を基礎として、地方に地方協議會を設けその地方の意見を代表せしめ、地方的の問題を取扱はしむる必要があらう。各地協議會で代表者を、中央協議會へも列席させることにする。此等協議會の完成するまで、一つの小さな假委員會を設けて、以上の機關の組織に當らしめ、且つその完成まで、暫時成人教育運動に對しての諮問に應ずることにしてB・B・Cの援助とする。

經費問題

一五、以上概説した施設に要する費用は、現在遞政廳々官の保管にかゝる特許料収入額から、徴收費監督費などを控除した、剩餘を以て充當し得る。又吾々の意見では、斯くすべきものと思ふ。然るに、B・B・C今日の組織の基礎であるクロイフォード委員會の判決には、適切なサーヴィスが完了する迄、國家が斯の如き資金を保留することを認めてゐない。吾々の意見では、教育放送の有効な發達は、適當なサーヴィスを最も緊要な部分として認めねばならぬと思ふ。(終)

署名者

W.H. Hadow

J.C.W. Raith

W.G.S. Adams

R.H. Eckersley

E. Salter Davies

J.C. Stobart

L.F. Ellis

David Cleghorn Thomson

G.H. Gater

E.R. Appleton

Grace E. Hadow

R.S. Lambert

J. M. Mitchell

Robert Peers

Arthur Tugh

Oliver Stanley

祕書

Hilda Matheson

T.H. Searls

一九二八年三月十五日

590  
151



附 録 A

受信機の選定と取扱に就いて

団体聴取者に關して受信機の選定、組立、取扱方の一般的注意を掲げる事は緊要であると考へるので、以下其の目的を以て記述する。

ラジオは一つの新しい技術である。従つて其の機構については餘りに一般的に取扱ふ事が出來ない事情があり、或程度の技術素養の無い者には了解する事が困難である。

第一節は受信機の選定、組立、装置方について記述したのであるが、當初の目的は主に地方に於ける技術者のために記述するのである。技術的智識を持たない人は、受信機についてはなるべく専門技術者に一任する事が望ましい。

第二節は技術素養のない讀者のために、受信機の取扱方を出来るだけ平易に記述した。

第一節 受信機の選定

受信機の選定は、受話器を用ひるかスピーカーを用ひるかによつて異なり、又受信機使用の目



的や其の場所に依つて決まるのである。

教育放送に用ひらるべきものとして、特に選定した五種の受信機については其の詳細な説明書は申越し次第、無料御送附する筈であるが、大要左の通りである。

- 1、鑛石受信機——別表に示す最大距離以内に於て六組の受話器を使用することが出来る。
- 2、D型單球受信機——六組の受話器を使用することが出来る。
- 3、A型二球受信機(檢波、低周波一段)——三十組の受話器、又は小型スピーカーを使用することが出来る。
- 4、B型三球受信機(檢波、低周波二段)——中型スピーカーを使用することが出来る。
- 5、C型四球受信機(高周波一段、檢波、低周波二段)——前記B型よりも一層遠距離に於て中型スピーカーを使用する事が出来る。

上記受信機を使用して、諸種混信妨害を殆んど無視する事が出来、良好な受信を爲し得る最大距離、及び附屬品を含む各受信機の大体の価格は次表の通りである。

受信機の種類	中央局から中継局からの距離(哩)	中継局からデイントラー局からの距離(哩)	附屬品を含む受話器又はスピーカーの価格(磅)	受話器又はスピーカーを除外した価格(磅)
鑛石式(六組の受話器)	4	1 1/2	20	2
D型(全 E)	25	3	100	5
A型(十五組の受話器)	25	3	100	11
B型(小型スピーカー)	15	3	80	16
C型(中型スピーカー)	35	3	150	18

\*此距離は同一波長の他の局と混信する爲に局限される。

上記聴取区域外では、混信のために目的とする局の受信を甚しく害せられるであらう。しかし、これは必ずしもさうばかりとは限らず、もつと遠距離に於て良好な結果を得る事も屢々あるのである。

概して云へば別表区域内に於ても晝間より夜間の方が能率がよいのであるが、これは受信機に缺陷がある爲ではない。そして十分に安全率を見積つてゐる受信機を準備すれば、晝夜の感度變



化も大した問題ではない。

前記の制限は或程度迄地方的のコンディションによるのであつて、一般には別表に掲げた數字を越えることはないであらう。

そしてどの型の受信機が適當であるかに迷ふ様な距離の場合であつて、且費用が許されるなら、一段上級のセットを設備されることが望ましい。又別表に示す価格は如何なる場合でもさうであるといふ決定的なものではない。

そして部分品又は既成セットを購求する場合、教育当局は製造者や卸商から約一割の特別割引を受けてゐるが、この場合は別表價格より一割だけ低廉となる譯である。

#### 組立

上述の如くこれについては地方ラヂオ商乃至ラヂオ技術者の手に委ねるか、或はB・B・Cの意見を聞かなければならないものである。無経験者が、充分満足の得られる受信機を自作するといふ事を期待するのは全く無益の事である。

次に記す事項は製作者への参考として掲げたものであるが、尙B・B・Cで配布してゐる説明書

には、部分品一覽、接續圖、實體配線圖等を掲げてある。

實際の配線は接續圖に従つて順次行ふべきで、即ち各真空管に伴ふそれぞれの部分品は、各真空管の附近に配置し、真空管は一般接續圖の様に、アンテナ側から出力側へと順次左から右へ配列すること。

部分品は適當に配置すべきであるが、著しく長い配線は避けなければならない。特に真空管のグリッド及プレート側の配線は出来るだけ短いのが望ましい。

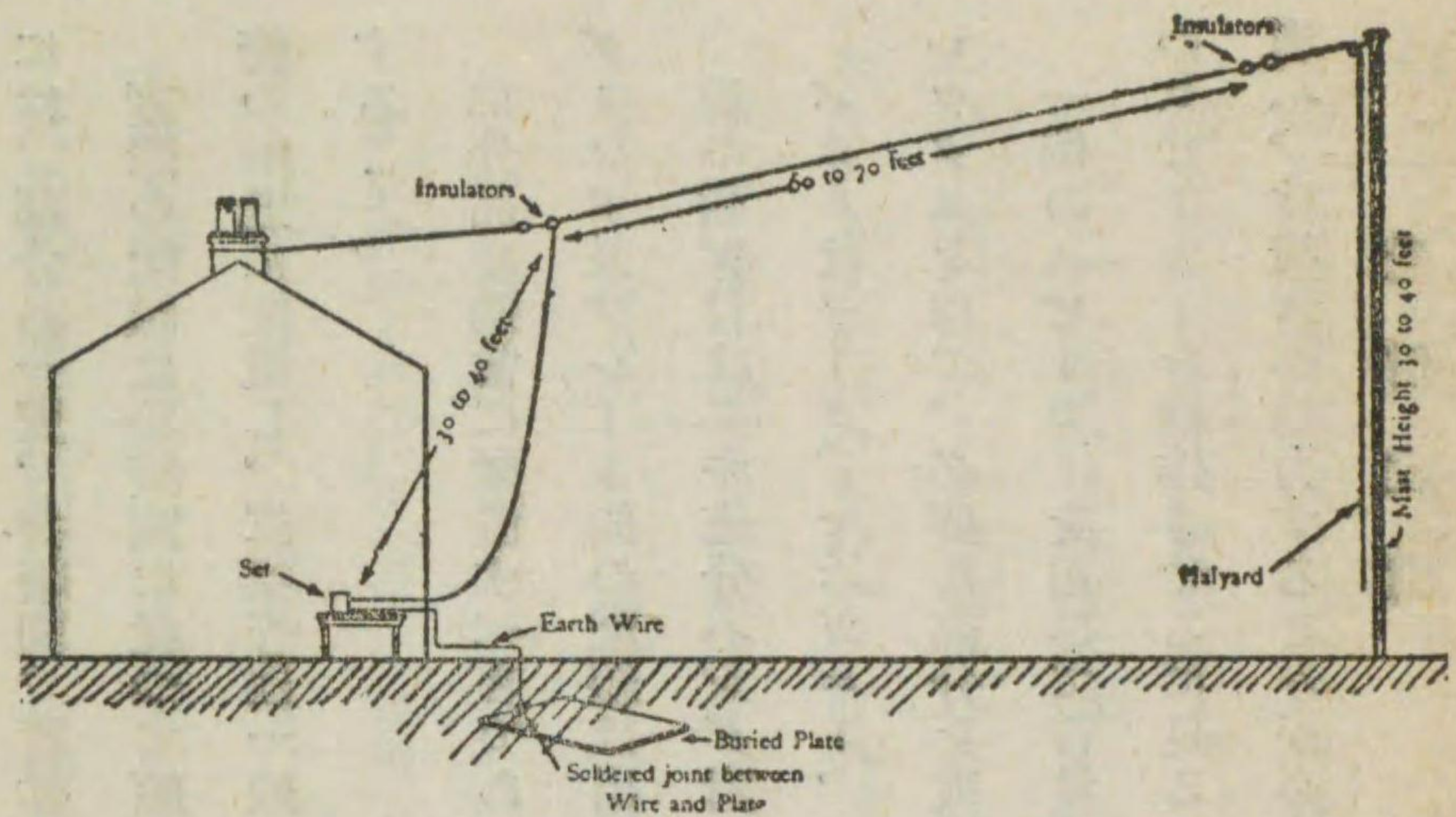
線の繋ぎ目は必ず充分ハンダ付けする。此の場合酸性融劑は用ひぬこと。

パネルはチーク、マホガニー、又は良質のエボナイトを用ひ、接續用線に一・五ミリのシストフレックスを以て、必要な部分を被覆した十六番錫鍍銅線を使用すること。

一個のスピーカーを用ひて音量が不充分であるやうな所では、受信機に多少改造を加へて一個のスピーカーを働作させるに足る以上のものとする必要がある。さうした場合には詳細の説明を與へ、技術者が助力することが必要となつて来る。

#### 受信設備





受信設備についても相當注意が必要で、先づ能率の良いアンテナを樹てることが甚だ肝要である。

良好に安定に受信するのに、棒型アンテナや室内アンテナを用ひやうとする事は、當初に於て機器の良好な操作を傷ふ遣り方である。

最良の設備としては、水平部六〇呎乃至七〇呎、引込三〇呎乃至四〇呎の燐銅線單條逆L型アンテナと、引込直下に約三呎平方位の銅板又は亜鉛板を埋めたアースを設けることである。水道管に電氣的に完全な接続をする事は中々困難であるから、寧ろ前記のものが望ましい。銅板などを使用する場合は地上約二吋か三吋突出させ、それとアース引込線とをハンダ上げるアンテナ、アースに關する斯うした注意は入念に爲されることが大切で、いゝ加減な處理は禁物、殊にアースについては特

にさうである。

又アンテナを放送局方向へ向けなければならないといふ考へは誤りである。どの方向に向けやうと問題ではなく、要は樹木、家屋、電信電話線、送電線等から出来るだけ離して設けるといふ事が重要なのである。

受信機とアース間の導線はなるべく眞直に短くするのが宜しい。そしてアンテナスイッチとして双極双投スイッチを使用すること。スイッチの中央接觸片の一方はアンテナへ、一方はアースに接続し、スイッチの下方接觸片は短絡金物又は針金で連結し、上方接觸片の一方は受信機のアテナ端子へ、一方はアース端子へ接続すること。

始めて受信機を装置する場合には、先づA電池をつなぎ、B電池をつなぐ前に真空管が全部點火するかどうかを検すること。

當局に指示したやうな真空管を用ひ、真空管全部に一五〇ヴォルトのB電池（これは普通に使用される真空管の最大電壓である）を接続する時には、C電壓は高周波バルブに對しては約一・五乃至三ヴォルト、檢波バルブに對しては一・五乃至三ヴォルトを興へ、第一段低周波バルブに對し



ては一・五乃至三ヴォルト、そして二段目の低周波バルブが高増幅パワーバルブならば一二乃至一五ヴォルトを與へ、低増幅パワーバルブならば二五乃至三〇ヴォルトを與へ、最良の結果が得られるやう、それぞれ綿密に調整する事が肝要である。

低周波バルブへのB電圧は、歪みなく一層音量が大になるまで漸次二〇〇ヴォルト迄高める事が出来る。此の場合C電圧も亦其の割合で高める事が必要となる。

受信機を使用する室の音響關係は相當研究を要し、スピーカ一の位置は最良の位置を選ばなくてはならない。

此の點に關して簡単に説明する事は困難であるが、いづれにしても必要なだけの音量を出す事の出来る最新のスピーカーを使用する事が肝要である。

けれども放送スタジオに於ける實際の音量よりも甚だしく強大に、又は甚しく弱小な音量で作させる時はスピーカーは不自然に働かし、従つて原音に近いものを得る事が出来ないといふことを承知して置かなければならない。

スピーカーを能力以上無理に働かせる時には、特有の音色、自然の音調音質を失ふ傾向を生ず

るであらう。それ故に四十人以上ものクラスに一個のスピーカーに依つて講演を聞かせやうと試みる事は賛成出来ない。

若し大講堂で百人以上もの多數に聞かせる必要がある場合には室の兩側、天井から四分の一位の所に二個以上のスピーカーを設ける事が必要である。一個のスピーカの場合には其の室の音響上の特性を充分顧慮した後決定されなければならない。

野外用には普通、音の反響面として働く壁や天井が無いために甚だしく大なる音量が必要となつて来る。従つて此の場合には一般に、少くとも低周波増幅一段以上を附加し、二、三個のスピーカーを使用する事が必要となる。

#### 電燈線の使用

次に、一種若しくは全部の電池の代りに電燈線電源として使用することに就て述べやう。

B電池に代るべき良好なエリミネーターは數多く出来て居る。しかしA電池及びC電池をもエリミネーターとするためには装置は相當複雑となり高價となる。

機器の保守上起り勝ちである故障の大部分は大低電池にあるやうであるから、電燈電源の使用



はBエリミネーターに特に必要と認められる。  
電気供給方式は、所によつて差異があるからエリミネーターの一定標準形式を決定することは不可能である。

若し直流送電のある所なれば三磅乃至四磅でB電源装置が得られるし、交流送電ならば六磅乃至八磅を要するであらう。

此等の装置を設備するには、相當考慮を要する點があるから、選定に當つては先づ技術者の助力を受けることをおすゝめする。

一旦設備して、それが良好に働作してゐる場合はBエリミネーターは何等の手数を要せず、しかも最初の設備費がB乾電池の價格に比して高くとも、電力を電燈線から取る爲に維持費は極めて僅少で済み、B電池を取換へる費用の方が結局却つて費用が嵩むこととなる。

B電池及び出来るならばA電池をもエリミネーターとする事の利益は多々あるが、費用が許すなら進歩したそして、維持費を減じ得るエリミネーターを装置するのがよいと思ふ。

## 第二節 受信機の扱ひ方

### (a) A蓄電池

受信機を使用する人は、電池の充電といふ事にかなり悩むものである。

電池は充分充電されて居れば、甚だしく古くない限り充電後いつでも同じ一定時間を保たねばならぬものである。

放電する時間の長さは使用真空管の數と型に據るのであるが、一回の充電でいつ迄使用し得らるべきであるかは、技術者から確かめるのが宜しい。使用した時間を記入するやうにセツトにカードを貼付して置くことは電池の充電上参考となり、誠に結構なことである。

そして一個は現用、一個は豫備として二個の電池を備へて置くことが望ましい。即ち一方の電池が放電して真空管の光りが薄くなつたり、スピーカーの音量が弱くなつたりした場合に別の電池を使用する。同時に最初の分は直ぐ充電に出すのである。

放電状態については前以て注意して居ることが肝要であつて、全部放電し盡すといふ事は蓄電池のために宜しくない。

電池の状態は使用状態に於て各セルの電圧を検すると大体判定出来る。二ヴォルトの各セルの



電圧を、一・八ヴォルト以下に低下させるやうな事のない様することが大切である。

電池を見れば赤色の端子と黒色の端子と二様ある事が判る。赤色の線は赤色の端子へ、黒色の線は黒色の端子へつなぐ事になつてゐる。

充電しない儘、長時間棄てて置くことは電池の爲に良くない。

一ヶ月間も受信機を使用しない様な時には、使用せずとも電池は充電して置かなくてはならない。一ヶ月以上長期に亘つて使用せぬ場合には充分に充電した後、稀硫酸を取除き、其代りに蒸溜水を満して置くこと。再び使用する場合には規定の稀硫酸を蒸溜水と入れ替へ、更に充電を行へば、蓄電池は再び使用し得べき状態となる。地方の技術者は斯うした取扱を充分に履行するではあらうが、時としては他に別の監督者も必要であらう。

(b) B 電池

B 乾電池は充電して用ひる事は出来ない。(中略)しかし通常の使用状態に於て四ヶ月乃至六ヶ月位は使用に堪へるべきものである。

B 電池が駄目になり始めると、A 蓄電池を充電しても、真空管を規定通り輝かせても、多くの

場合受信機は次第に弱勢となつて行くものである。

(c) C 電池

C 電池については格別心配するの要はない。たゞB 電池を新らしく取替へる時にはC 電池も亦新しく取替へるべきであるといふ事は承知して居らねばならない。

(d) 真空管

フィラメント電圧が真空管又は其の箱に記載してあるのより高くならないやうにすること。

注意して取扱へば真空管は何年といふ程使用する事が出来る。必要もないのにソケットから抜き出すことは慎まなくてはならない。

(e) 調整方

「調整」といふのは明瞭な音聲、快い音楽が聴取出来るやうセットを最良に取扱ふことを意味する。調整をする爲にはセットにいくつかの把手が設けられてある。しかし一つの放送局のみを聴取しやうとする場合には、技術者が取付けて行つた時のまゝ、印をして置き不必要な調整を試みぬ様にすることが望しい。



二つの放送局のサーブイス區域が重なつてゐる様な場所では、二局共良好に聴取することが出来るであらう。然し一般には一局のみを聴取する方が望ましく、セットも一局のみを聴取し得る様調整して置くべきで別の局のを聴くために調整を亂さぬことが良いと思ふ。

受信機を調整するに當つては、出来るだけ再生結合を疎にすること。即ち可動コイルホルダーに取付けた可動コイルを、必要以上に固定コイルに餘り密に接近させないやうにすること。過度の再生は歪みを生ずるばかりでなく、受信機内に自己振動電流を發生してアンテナから發射し、近隣の受信機に妨害を與へる。

セットから充分な音量を得んが爲に、再生をひどく利かせる必要があるといふ時、即ち兩コイルを充分接近させる必要があると認める場合には、これは該受信機が充分な安全率を見積られて居らず、送信勢力が土地に不充分であるといふ事になる。

\*自己振動の原因と防止方については申越次第、無料で小冊子を御送附する

C型受信機には音量調節装置が設けられてある。適當に同調された場合、音量が大に過ぎるといふ時、此の装置を用ひて音量を加減する。どんな時でも同調をばづして音量を減ずるのは避け

なければならぬ。

鑛石式及びA型、B型受信機はどこでも其儘で働かせる事が出来、音量を加減する必要が餘りないであらうから、此の装置を設けてないのである。

それからセットの使用に慣れない人は、蓄電池、B電池を取換へる時の外、何にも調整をする必要がない譯である。

#### (f) 故障の發見

故障發見はすべて技術者に依頼すべきものである。故障發見を書いた參考書は數多あるが、然しこれ等の故障の甚だしいものについては、セットの製造者、又は地方代理店について質すか或はB・B・Cに通信教示を受ける事を是非共おすゝめしたい。

\*セットに附けて置く適當な、保守方について記載したパンフレットは申越次第無料送附する



諸外國に於ける教育放送に就いて

茲に掲ぐる諸外國に於ける實驗の摘要は、教育事項放送に關する全般に渡らうとは企てゝゐない。要するに、各國で行つてゐるほんの型を示すだけのことであるといふことを、承知していただきたい。

全體として、歐洲のプログラムを通觀するに、多くは晝間に教育又は實用的講話を行ひ、且つ又各局共に就業時間の直後である早い夕方と、更に晩夕との兩回に行つてゐる。大抵一講話時間は、半時間である。米國は別問題だが、英國の如く短時間の講話をする處は、比較的少數である。例へば、オスロー（諾威）からは、通常、午後六時三十分から七時迄語學の課程、同七時から七時三十分迄講話、八時三十分から九時迄講話又は朗讀、及び九時十五分には、屢々時事の講話を放送する。伊太利では、通例語學講座が午後七時から七時半、又は七時五十分迄行ひ、その後には時事の講話がある。西班牙のプログラムでは、八時三十分から半時間音楽講話を、九時三十分

語學講座を、九時四十五分から法律講話を行つてゐる。獨逸では、大抵の局は、午前中に語學講座を行ひ、又親達や主婦相手の講話を放送し、教育講話、若しくは實業及び公民學に關する講話は、六時から七時、又は七時三十分迄の間に行ふ。ハンブルグの代表的プログラムは、語學講座を午前十時と、午後四時、五時三十分、及六時とに行ひ、運動講話を、六時三十分、時事の講話を、九時から九時三十分迄に放送してゐる。

英國以外の國で、ラヂオを教育事業に利用しやうとする刮目すべき計畫がある。それは、伯林である。即ち、ケーニヒス・ウスター・ハウゼン局から英語、佛語、西語、速記術、經濟學、文學、法律、衛生學、農業等の課程を放送してゐる。各講話は、通例三十分間で、それから、連續講話は、毎週午後一時十分から五時三十分迄の間に行はれる。一九二七年度に於ける講話のプログラムを見ると、職業教育と一般教育との二種に分類せられてゐる。前者は、全體の六割六分で、後者は、三割四分になつてゐる。語學並に類似の講義（五割八分）は、職業教育の大部分を占め、主婦の爲めの家庭講座は、九分で第二位にある。一般的講義の方は、一層均等に分割され、博物學は、第一位で一割八分、次は文學の一割七分八厘、次は音樂の一割〇分二厘である。この種類に屬す



る他の學科に、歴史學、政治學、教育學、工藝、宗教、哲學等がある。講話拔萃や鮮明なる圖解を掲載するドイツシエ・ウエーレ・フンクと稱する教育的の印刷物が、放送の補助として發行される。然し、獨逸には、B・B・Cのやうに徹底したパンフレットと同様のものは無い。

澳國では、放送會社「ラバグ」と、ウキンナの通俗教育會との間に極めて密接なる提携がある。語學、音樂、科學的農業は、此國における日常の放送での卓越せる特色である。澳國放送事業中興味ある一事は、毎週八頁を直接その解説的事項に提供しつゝあるプログラム新聞、即ち「ラデオ・ウキン」紙の出てる事である。ウキンナでは、一般加入者に極めて廉價な費用で、幻燈と紙製幻燈繪とを貸與し、之に依つて、一堂に會した若干の聴取者が、講話の解説となる繪を見ることが出来るやうにしてゐる。然し、此の制度は、餘り面白くないといふ報に接してゐる。

佛國には、毎夕八時半から十時半迄教育講話を放送するエツフェル塔局から周到なる成人教育放送がある。「ソルボンヌ・ラデオ・カレヂ」の統轄委員には、歴々の名前を列ねてゐる。その首領は、レーモンド・ポアンカレー氏である。然しながら、佛國に於ける放送制度は、目下過渡期に在るを以て、實際は十分に其機能を發揮しないやうである。

米國に於ては、總ての局のプログラムに放送講話が入つてゐる。だが、その大部分は、新聞雜誌的又は廣告的性質のものである。然しながら、米國の多數の大學の「大學教育開放部」は「名望のため」ではなく、(即ち、學位を得るのが目的でなく)通信教授の一補充として、放送を利用してゐる。専ら中西部と東部に於ける廿七個の大學とカレッチとが、放送を常規の課程としてゐる。廿一校が臨時に放送を利用してゐるが、其の學科は、修養上のもの、職業的のもの、並に技術的(主として農業)のもの、及び公民としての話題である。

メキシコは、一般の教化並に教育放送の爲めに特設局(C・Z・C)を専用してゐる。毎日短かい講話が、大概の學科に渡つて行はれる。其外に特別課程として、養蜂、園藝、家政學の如き學科を放送してゐる。尙ほ、勉學の爲め筈を首府に負はずとも、在所に居ながら卒業が出来るやうに、小學校並に師範學校の教師の爲めに課程が放送される。其の他の常規の連續講義には衛生育兒、軍事教育、外國語、海陸運送等を含む。立法上の對論は、同局より毎夜その全部が放送されてゐる。



## 放送と青年教育に就いて

我が國の兒童の大部分は、十四歳になると、學校の訓練と感化とから離れる。彼等は、實業に入るか、然らざる者は、仕事もなく暮す。仕事をするにも、閑暇の利用にも、多くは彼等の勝手次第に放任される有様である。多くの家庭に於ける其の感化と環境とは、この年配の少年の興味と本能の發育とに對して、適當に完備してゐないと言ふことは、既に久しき以前から認められてゐる。その結果、この問題に對應する爲め、有志者の一大團體が起つて、クラブや會といふやうなものを作つた。其の或者は、健全な慰安を謀り、又或者は青年の智育、徳育の範圍を擴めるやうなことをした。嚴密なる意味の教育は、唯繼續諸學校、夜學會、地方教育當局の工業學校等に於て施されて居るのみである。然し、若し教育なるものが、生涯を通じての教練だといふやうに廣義に見るなら、かういふクラブや一般未成年者指導機關を、この問題の解決上貴重なる貢獻として嚴肅に考慮せねばならぬ。然るに、是等有志の事業は、どうしても事業上の運動や設備や援助

者を得るのに、多くの困難を伴ふ。今回調査の結果極めて強固な組織を有するクラブですら、仕事を上上に制限せられてゐる事を自覺し、一般にB・B・Cとの提携を望んでゐる。そして、クラブの事業の發展を計り度い、又男女青年の爲めに最も廣義なる意味の所謂教育を力強きものにし度いと望んでゐることが判明した。

一九二七年、文部省に於ける年少者團體委員會の年會に於て（アソール公爵夫人司會）クラブの教育事業に、ラジオの援助の能不能に對するB・B・Cの調査を歓迎すといふ決議をした。而して、年少聴取者のために、特に起草せられた講話の見本數種は、熱誠なる歓迎を受けた。

同様に、少年團長サー・ロバード・バーデン・パウエルは「放送が普通初等學校教程に於ける缺陷を補足し、且少年のために學校の及落といふことよりも、寧ろ其の生涯の準備とならうといふ方面の教育に援助の手を伸べて呉れるならば、同事業は確かに大なる將來を持つものである。」と聲明した。

一九二八年四月と六月とに於ける年少聴取者に聽かせるために計畫せられた特設連續講話は、左記全國的團體の賛成を得て、良好受信に對して協力を得た。



文部省内年少者各團體委員會 Juvenile Organization Committee, Board of Education  
實業共濟會 Industrial Welfare Society

少年團聯合會 Scouts, Association

少女指導聯合會 Girls Guides Association

キリスト教青年會 Y.M.C.A.

全國少年クラブ聯合會 National Association of boys' clubs

全國少女クラブ協議會 National council of Girls' clubs

全國社會事業協議會 National Council of Social Service

住民隣保事業聯合會 Residential Settlements' Association

多數の地方團體も同様に協力をするといふ申出をして來た。而して蘇格蘭の國民年少團體聯合會は、其の總ての同盟團體に送附すべき廻状を作製し、年少聴取者の利益の爲めに、ラヂオ放送の將來の發達といふことを考慮するやう督勵した。然るに、總て是等の團體とは没交渉に、尙ほクラブや學校のやうなもの、何れにも屬してゐない多數の青年男女が居る。其の發育期には、特

有な躁急な精神を満足せしむべき娯樂と興味との發見に、彼等自ら當つてゐる次第である。地方の有志團體の非常な努力にも拘らず、尙その大多數が、その感化の圈内にあることを實驗が示してゐる。

政府最近の一報告は、義務教育修了後の年少者の爲めに一層適切なる設備を設くることの緊要なることに留意を俟つてゐる。こゝに必然、放送局當事者は、この重大なる國家的問題の解決に貢献すべき一大機會をもつ。即ち、放送局當事者は、クラブに屬すると否とを問はず若き人を感じ善導するに比類なき媒介物を有してゐる譯である。地方團體が、地理的又は經濟的關係から、實行出來ないことでも放送局當事者には容易なことであつて、自由に講演者を選択し得るのである。

田園地方にては、この窺乏は特に大である。かけ離れた田舎では、青年達をして知名の士の薫陶を受けしむること、都市に於けるが如き教育の便利を得ること甚だしく困難である。某田園社會事業團の活動状態を考察した處に依ると、地方に於てこの要求が既にあることを證明してゐる。初め放送プログラムの興ふる趣味ある事項を知らしめる爲めに、持ち廻つた周知用の受信機が、



今日では不要になつた。それといふのは、貧しい茅屋にも受信機の設置は珍らしくなくなつたからである。それで、元の周知用セットは、村の青年クラブで買ひ上げてゐる。

青年教育に對するラヂオ最初の試験的實驗に既述の各團體が逸早く共鳴したことは、一般的に甚だしく渴望してゐる證據で、従つて、偉大な將來を持つてゐる譯である。或る地方では、クラブ内にラヂオ装置を持たない青年の爲めに、中央ホール二三個所に設備して彼等に講話をきかせるといふ迄に其の重要さを感じてゐる。又或る大きな會の會長が、總ての關係クラブや學校などにラヂオセットを装置して、青年向講話をきかせることにしてゐるのなどを見ると、この新しき實驗は、決して單なる冒險的な試みではなく、正に建設的社會事業の一端であることが明白である。今後も更にこの實驗が企畫せられ、そして、聴取者側に於ける各團體の協力をして有効ならしむべき機關の設けられることを切望する次第である。

昭和四年五月二十日印刷  
昭和四年五月二十五日發行

(非賣品)

發行所  
東京市麴町區有樂町二ノ五  
社団法人日本放送協會關東支部

印刷所  
東京市神田區松下町七番地  
明治印刷株式會社



590  
151



